

令和 3 年 度

草 加 の 教 育



タブレット端末と大型提示装置を活用した授業

草加市教育委員会

【表紙の説明】

タブレット端末と大型提示装置を活用した授業

国のGIGAスクール構想に基づき整備した一人一台のタブレット端末と各学校に設置した大型提示装置を同時に活用することにより、それぞれの考えを比較・共有し、学びを深めることができるようになりました。

草 加 市 民 憲 章

わたくしたち草加市民は、綾瀬の流れと松原をシンボルとして、おおきな夢をはぐくんできました。

人の心をたいせつにし、自然をいかした住みよいふるさとをめざして、ここに憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 平和を愛し、文化的で、
ゆたかなまちをつくります。
- 1 きまりを守り、安全で、
せいけつなまちをつくります。
- 1 健康に努め、親切で、
さわやかなまちをつくります。

(昭和63年11月1日制定)



市章（昭和33年11月1日制定）

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育長 山 本 好 一 郎

草加市教育委員会では、第三次草加市教育新興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」の基本理念である「生きる力を共に教え育てる草加の教育」の実現を目指し、子ども教育、生涯学習、人権教育の各分野において、施策を展開していきます。

子ども教育においては、園や学校・家庭・地域が一層の連携の下、幼保小中を一貫した教育を推進する中で、子どもたち一人ひとりの自己肯定感や自己有用感をさらに高めます。また、全小中学校をコミュニティ・スクールとして、学校と家庭・地域が子どもたちの成長を支える上での目標を共有し、連携を深め、協働しながら「地域とともにある学校づくり」を目指します。さらに不登校をはじめ、学校生活の諸問題に対する教育相談活動を推進します。計画的な学校教育施設整備として、トイレの改修工事及び屋内運動場へのエアコン設置等工事を実施し、教育環境の充実を図ります。

生涯学習においては、草加市生涯学習推進指針を基に、市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習情報や学習機会を提供し、習得した技能や知識を地域づくりに還元できるようにすることで、学びの成果が発揮される生涯学習の推進を図ります。また、草加市文化財保護指針を基に、国指定名勝である「おくのほそ道の風景地・草加松原」を始めとする文化財の保存活用や計画的整備、歴史民俗資料館の整備・充実を図り、文化遺産をいかした魅力あるまちづくりを推進します。中央図書館では、読書に携わる市民や団体とも連携し、子どもと本が合う機会を増やすとともに、図書館が持つ集客・賑わい創出機能のまちづくりへの活用や「新しい生活様式」への対応など市民ニーズや社会構造の変化に合わせた図書館サービスの検証や見直し等、新たな図書館の在り方についての検討を進めます。

人権教育においては、全ての教育活動で、自他の大切さを認めることができるよう、子どもたちの発達段階に応じた人権を大切にしようとする教育を推進します。また「草加市人権尊重都市宣言」に基づき、人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が互いの存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指します。

ここに発行する『草加の教育』は、教育委員会が取り組む施策をまとめたものであり、今年度の事業内容や、昨年度の実績等を掲載しています。本市教育行政の全体像を皆様にご高覧いただき、幅広くご活用いただければ幸いです。

目 次

草加市民憲章・市章

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育委員会教育長・教育長職務代理者・

教育委員会委員

歴代教育委員会教育委員長・教育委員会委員・

教育長

I 教育行政・教育財政

令和3年度草加市教育委員会教育方針 …… 7

令和3年度草加市教育行政重点施策 …… 10

令和3年度教育予算 …… 11

教育委員会の組織 …… 12

教育委員会の事務分掌 …… 13

II 子ども教育

「子ども教育」の連携を推進 …… 17

入学準備金・奨学資金の貸付制度 …… 19

外国人学校児童生徒保護者補助金制度 …… 19

計画的な学校教育施設整備の推進 …… 20

教育施設の紹介 …… 20

自然教室 …… 21

学校図書館教育 …… 22

国際理解教育 …… 22

情報教育 …… 24

環境教育 …… 25

教職員の研究・研修 …… 25

生徒指導 …… 27

教育相談 …… 28

特別支援教育 …… 30

学校給食 …… 32

学校保健 …… 34

市立小学校の紹介 …… 36

市立中学校の紹介 …… 42

III 生涯学習

学びの成果が発揮される生涯学習の推進 …… 47

文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的

な取組の推進 …… 48

生涯学習施設の紹介 …… 49

草加市立中央図書館 …… 53

IV 人権教育

人権教育 …… 59

V 資料編

草加の教育の沿革 …… 63

草加市の指定文化財 …… 70

教育委員会関係附属機関委員 …… 74

学校教育関係等一覧 …… 75

児童・生徒数等の推移 …… 76

教職員の年齢構成・男女比 …… 77

学校概要 …… 78

小・中学校施設状況 …… 79

教育委員会教育長・教育長職務代理者・教育委員会委員

(令和3年4月1日現在)

氏 名	教 育 長	教育長職務代理者	教育委員会委員
	在任期間	在任期間	任 期
やまもと こういちろう 山 本 好一郎	R3. 4. 1～ R6. 3. 31		R2. 10. 1～ R3. 3. 31
お ざわ なお ひさ 小 澤 尚 久		H26. 4.1～H27. 3.31 R2. 10.1～R3. 9.30	H24. 1. 1～H27. 12. 31 H28. 1. 1～ R1. 12. 31 R2. 1. 1～ R5. 12. 31
か とう ゆ み 加 藤 由 美			H24. 10. 1～H28. 9. 30 H28. 10. 1～ R2. 9. 30 R2. 10. 1～ R6. 9. 30
うだ がわ く み こ 宇田川 久美子			H26. 4. 1～H30. 3. 31 H30. 4. 1～ R4. 3. 31
かわ い かすみ 川 井 かすみ			H31. 1. 25～R5. 1. 24
みね ぎき たかし 峰 崎 隆 司			R3. 4. 1～ R6. 9. 30

歴代教育委員会教育委員長・教育委員会委員・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏 名	教 育 委 員 長		教育委員会委員		教 育 長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	S32. 1. 9	S35. 9. 9	S31.10. 1	S35. 9.30		
岡 野 仁右衛門			S31.10. 1	S42.12.31		
浅 古 光 藏			S31.10. 1	S43. 9.30		
池 田 俊 三	S44. 1. 9	S45. 1. 8	S31.10. 1	S48. 9.30		
	S48. 1.10	S48. 9.30				
田 中 捷一郎			S31.10. 1	S46. 9.30	S31.10. 1	S46. 9.30
中 島 長太郎	S36. 1. 9	S43.12.19	S35.12.20	S43.12. 9		
宮 本 忠 藏	S45. 1. 9	S45. 9.30	S43. 4. 1	S45. 9.30	S47. 1.14	S49.10. 4
	S45.10.24	S46. 1.11	S45.10. 5	S49.10. 4	S50. 1. 9	S53.12.31
			S50. 1. 1	S53.12.31		
上 山 良 一	S46. 1.12	S47. 1. 7	S43.12.25	S47.12.24		
	S49. 1.11	S52. 1.10	S48. 3. 1	S52. 2.28		
	S52. 1.22	S52. 2.28				
二階堂 重 信	S47. 1. 8	S47.12.24	S43.12.25	S47.12.24		
倉 林 誠一郎			S46.12.24	S50.12.23		
加 藤 正 一			S48. 3. 1	S49.12.31		
若 旅 吉一郎			S49. 1. 1	S52.12.31		
藤 盛 正 規	S52. 4.23	S53. 4.22	S51. 1. 1	S54.12.31		
佐々木 正 勇			S51. 6.21	S55. 6.20		
野 口 康 司	S53. 4.23	S54. 3.31	S53. 1. 1	S56.12.31	S54. 4. 1	S56.12.31
小 澤 博	S54. 4. 1	S56.12.31	S53. 4. 1	H5 . 6.30	S57. 1. 1	H5 . 6.30
藤 波 壽	S59. 1. 1	S61.12.31	S54. 7. 1	S62. 6.30		
竹 澤 義 郎	S62. 1. 1	S62.12.31	S55. 1.17	S63. 1.16		
浅 古 正 三	S57. 1. 1	S58.12.31	S55. 8.12	S63. 8.11		
小 山 利 男	S63. 1. 1	H1 .12.31	S57. 4. 1	H2 . 3.31		
渦 尾 延之助	H2 . 1. 1	H2 .12.31	S62.10. 1	H3 . 9.30		
桂 保 平			S63. 4. 1	H4 . 3.31		
鈴 木 昭 平	H3 . 1. 1	H4 . 9.30	S63.10. 1	H4 . 9.30		
高 野 光 由	H4 .10. 1	H6 . 3.31	H2 . 4. 1	H10. 3.31		
	H8 . 1.10	H10. 3.31				
藤 井 光 男	H6 . 4. 1	H7 .12.31	H4 . 1. 1	H7 .12.31		
神 白 高 子			H4 . 6. 1	H12. 5.31		
定 道 成 美			H4 .10. 1	H8 . 9.30		
常 田 種 雄			H5 .10.15	H10. 3.31	H 5.10.15	H10. 3.31
谷古宇 康 治	H10. 4. 1	H11.12.31	H8 . 1. 1	H11.12.31		
會 田 勝 美			H8 .10. 1	H15. 3.31		
鳥谷部 志乃恵			H12. 7. 1	H16. 6.30		
牛 山 信 康	H12. 1.19	H14. 1.18	H11. 1. 1	H17. 4.22		
	H17. 1.19	H17. 4.22				
若 林 誠 満	H14. 1.19	H17. 1.18	H12. 1. 1	H19.12.31		
宮 嶋 昭 雄			H10. 4. 1	H22. 3.31	H10. 4.16	H22. 3.31
國 澤 正 和	H19. 5.24	H21. 9.30	H16.10. 1	H23. 3.31	H22. 4. 1	H23. 3.31
岩 永 嘉 仁			H20. 1. 1	H23.12.31		
浜 本 悦 子	H17. 5.24	H19. 5.23	H15. 4. 1	H24. 9.30		
西 田 敏 子	H25. 1.25	H26. 3.31	H22. 4. 1	H26. 3.31		
井 出 健治郎	H21.10.1	H22.12.31	H17.10.1	H22.12.31		
	H23.1.25	H25.1.24	H23.1.25	H31.1.24		
村 田 悦 一	H26.4.1	H27.3.31	H23.4.1	R2.9.30		
高 木 宏 幸			H23.4.1	H27.3.31	H23.4.1	R3.3.31

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年度をもって、教育委員長の職は廃止されました。

I 教育行政・教育財政

令和３年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身ともに健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められています。

この目的を達成するため、第三次草加市教育振興基本計画においても「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携・協働して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図るとともに、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にした信頼される学校教育を推進します。また、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校（以下「幼保小中」という。）と家庭・地域が連携し、地域社会が一体となって０歳から１５歳までの全ての子どもの育ちをともに支える、子ども教育の連携を更に推進していきます。また、市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習する機会の充実を図るとともに、その成果を発揮できる学習環境づくりを推進します。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた安全対策を推進し、全ての子どもに切れ目のない学びを保障するとともに、安全安心な生涯学習機会の提供に努めます。

０歳から１５歳までの子どもの育ちをともに支え、目指す「草加っ子」（１５歳の姿）を実現するため、「第三次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画」に基づき、引き続き全中学校区で幼保小中を一貫した教育を実施するとともに、これまで育んできた自己肯定感・自己有用感を一層高めることができるよう、各中学校区の教育実践を支援します。

さらに、地域社会が一体となって子どもの育ちを支えられるよう、幼保小中・家庭・地域の連携を推進するとともに、家庭教育への支援や施策の周知・広報を積極的に行います。

児童生徒の学力向上を最重要課題の一つと捉え、GIGAスクール構想に基づき、教育の情報化も活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現、自己肯定感・自己有用感を高めることを視点として、日々の授業改善を進めます。幼保小中を一貫した教育を通して、全国・県・市の学力・学習状況調査等の各種調査を分析・活用し、家庭・地域との連携・協働を図りながら、幼児期の教育の成果を基盤として「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力の育成を含めた確かな学力を確実に伸ばす取組を進めます。

全ての教育活動を通じて「いのちの大切さ」を実感する教育を行うとともに、「特別の教科 道徳」を要に全ての教科等で道徳教育を推進します。また、いじめや不登校などに対応する教育相談、問題行動の予防や解決を図るための積極的な生徒指導

の充実を図ります。

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かな人生を送れるよう、コロナ禍においても、力いっぱい運動し、しっかり食事をとり、ぐっすり睡眠をとる等の基本的な生活習慣を身に付けた健康でたくましい児童生徒の育成を図ります。

市内全小中学校をコミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを推進します。

また、「草加市立小中学校における働き方改革基本方針」に基づき、教職員の意識改革や業務改善、教職員以外の人材活用を図り、働き方改革を推進します。

児童生徒の不登校など支援が必要な様々な状況を、解決すべき重要な課題として捉えて対応するため、臨床心理士等による丁寧な教育相談活動を推進するとともに、スクールソーシャルワーカーや学校支援指導員などの派遣を通じ、学校や園、関係諸機関と連携を深めることで、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。さらに、学校適応指導教室の活動を充実させるとともに、学校・家庭との連携を深めることで、児童生徒の自立と学校生活への適応を支援できるような環境づくりを推進します。

特別な配慮を要する児童生徒の多様化する教育的ニーズに対応し、一人ひとりのよさや可能性を最大限に発揮できるよう、幼保小中と連携した丁寧な教育相談、就学相談を推進するとともに、十分な環境整備や支援体制を構築していきます。さらに、医療機関や子育て支援センター等の福祉関係機関との連携や、埼玉県立草加かがやき特別支援学校等が担うセンター的機能の活用を更に充実させていきます。また、特別支援教育に係る市独自の研修会を開催するとともに、各学校における研修を充実させることで、全教職員の特別支援教育についての理解を深め、指導力の向上を図り、個に応じた教育支援を推進していきます。

草加市公共施設等総合管理計画、草加市学校施設整備基本方針及び草加市学校施設等長寿命化計画に基づき、安全安心な学校施設の整備を効果的・効率的に進めます。特に、小中学校の屋内運動場にエアコン等を設置し、教育環境の向上と避難所としての防災機能の強化を図ります。

学校予算のより効果的かつ効率的な執行を推進し、特色ある学校経営を支援します。

「草加市生涯学習推進指針」を基に、他施策との連携を図る中で、市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習情報や学習機会を、生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」等を通じて提供し、各公民館等で実施する講座等で習得した技能や知識を地域づくりに還元できるようにすることで、学びの成果が発揮される生涯学習の推進を図ります。

公民館・文化センターにおいては、草加市公共施設等総合管理計画及び草加市学校施設等長寿命化計画に基づき、安全安心で快適な生涯学習環境の整備を効果的・効率的に進めるとともに、設備や備品の整備・充実を図ります。

「草加市文化財保護指針」を基に、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」を始めとする文化財の保存活用や計画的な整備、さらに、歴史民俗資料館の整備・充実を図り、文化遺産をいかした魅力あるまちづくりを推進します。

中央図書館では、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもと本が合う機会を増やすとともに、草加市子ども読書活動推進計画や誰もが使いやすい読書環境の整備を積極的に推進します。

また、図書館が持つ機能のまちづくりへの活用や「新しい生活様式」への対応など市民ニーズや社会環境の変化に合わせた図書館サービスの検証や見直し等、新たな図書館の在り方についての検討を進めます。

「草加市人権尊重都市宣言」を基に、全ての教育活動において、子どもたちが自他の大切さを認めることができるよう、発達段階に応じた人権を尊重し合う教育を推進します。また、市民が自ら考え行動できるよう啓発活動や学習機会を提供することで、全ての人が相互に認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指します。

これからも「やさしさがあふれるまち 草加」の実現に向けて、教育の目的が十分達せられるよう、教育行政の課題をよりの確に把握し、学校・家庭・地域が連携・協働し、「笑顔かがやく草加の教育」を目指して、積極的に施策に取り組みます。

令和3年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会は、第四次草加市総合振興計画第二期基本計画及び第三次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指し、教育行政重点施策を定めています。

○ 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 「草加っ子」の育成

1 目指す「草加っ子」（15歳の姿）を育む幼

保小中を一貫した教育の推進

(1) 子ども教育の連携の推進

- ◇ 子ども教育連携推進事業
- ◇ 「草加っ子」を育む子ども教育連携教員配置事業

(2) 自ら学ぶ「草加っ子」の育成

- ◇ 学力向上推進事業
- ◇ 学校教育補助員配置事業
- ◇ 土曜学習推進事業
- ◇ 英語教育・国際理解教育推進事業
- ◇ 日本語指導支援事業

(3) 心豊かな「草加っ子」の育成

- ◇ 豊かな心推進事業
- ◇ 音楽教育推進事業
- ◇ 自然教室推進事業
- ◇ 生徒指導推進事業
- ◇ いじめ撲滅推進事業

(4) たくましく生きる「草加っ子」の育成

- ◇ 学校体育推進事業
- ◇ 中学校部活動推進事業
- ◇ 学校給食推進事業（小中学校）
- ◇ 学校給食管理運営事業
- ◇ 就学時健康診断等事業
- ◇ 学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小中学校）
- ◇ 学校医等の公務災害補償事務
- ◇ 放射線対策事業

(5) 多様なニーズに対応した教育と支援の充実

- ◇ 教育相談充実事業
- ◇ 特別支援教育充実事業
- ◇ 特別支援教育就学奨励費補助事業（小中学校）
- ◇ 学校就学援助事業（小中学校）
- ◇ 入学準備金・奨学資金貸付事業
- ◇ 外国人学校児童生徒保護者補助事業

(6) 「草加っ子」の学びを支える指導力の向上

- ◇ 教職員研修推進事業
- ◇ 草加っ子「生き生きプラン」推進事業

2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

- ◇ 学校管理運営事業（小中学校）
- ◇ 学校運営・就学事務事業
- ◇ 学校応援団推進事業

(2) 家庭教育への支援

- ◇ 家庭教育支援事業

3 教育環境の整備・充実

(1) 安全安心な学校教育施設の整備・充実

- ◇ 学校施設維持管理事業（小中学校）
- ◇ 学校維持管理運営事業（小中学校）
- ◇ エアコン設置等事業（小中学校）
- ◇ トイレ環境改善整備事業（小中学校）
- ◇ 学校管理備品整備事業（小中学校）
- ◇ 奥日光自然の家管理運営事業

(2) 学習環境の整備・充実

- ◇ 情報教育環境整備事業（小中学校）
- ◇ 教材教具整備事業（小中学校）
- ◇ 教科書等整備事業
- ◇ 特色ある学校経営推進事業（小中学校）

○ 学びを通して生きる力を育む生涯学習 社会の推進

4 学びの成果が発揮される生涯学習の推進

(1) 生涯を通した多様な学習機会の充実

- ◇ 生涯学習推進体制整備事業
- ◇ そうか市民大学運営事業
- ◇ 大学公開講座等推進事業
- ◇ 子ども大学そうか事業
- ◇ 新成人のつどい企画運営事業
- ◇ 平成塾設置・管理運営事業
- ◇ 栄小学校施設一般開放事業

(2) 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

- ◇ 公民館等事業（中央公民館、柿木公民館、新田西文化センター、谷塚文化センター、川柳文化センター、新里文化センター）

(3) 文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

- ◇ 文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
- ◇ 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業
- ◇ 歴史民俗資料館管理運営事業

(4) 読書活動を支える図書館サービスの充実

- ◇ 図書館情報サービス・管理運営事業

○ 人権を尊重し合う教育の推進

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

- ◇ 学校人権教育推進事業

(2) 社会人権教育の推進

- ◇ 社会人権教育推進事業

令和3年度教育予算

令和3年度一般会計歳出予算（当初）

（単位：千円）

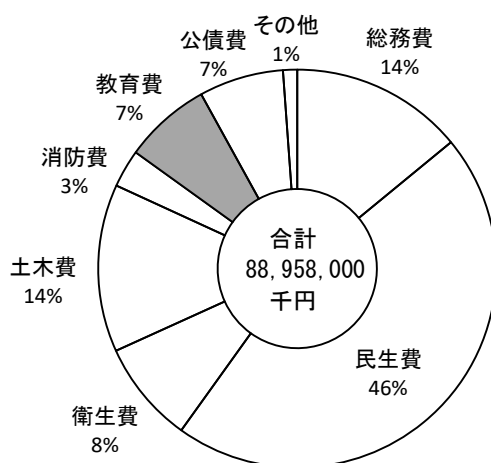
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 議会費	385,997	410,902	△ 24,905	△ 6.1
2 総務費	12,494,486	12,329,017	165,469	1.3
3 民生費	40,790,586	40,150,782	639,804	1.6
4 衛生費	7,403,653	6,142,581	1,261,072	20.5
5 労働費	36,348	35,835	513	1.4
6 農林水産業費	76,928	80,074	△ 3,146	△ 3.9
7 商工費	423,692	458,467	△ 34,775	△ 7.6
8 土木費	12,124,378	12,618,568	△ 494,190	△ 3.9
9 消防費	2,741,653	2,663,129	78,524	2.9
10 教育費	6,273,518	6,027,226	246,292	4.1
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	6,106,758	5,725,416	381,342	6.7
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	88,958,000	86,742,000	2,216,000	2.6

令和3年度教育費内訳（当初）

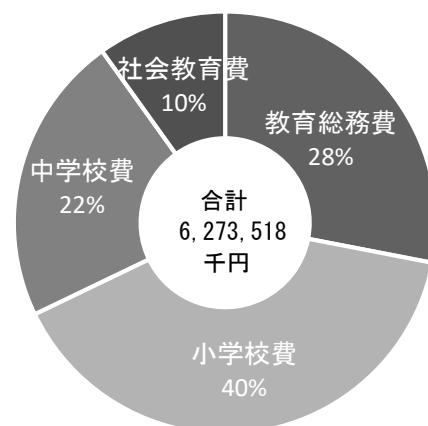
（単位：千円）

項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 教育総務費	1,759,087	1,879,588	△ 120,501	△ 6.4
2 小学校費	2,498,841	1,931,162	567,679	29.4
3 中学校費	1,394,846	1,346,671	48,175	3.6
4 社会教育費	620,744	869,805	△ 249,061	△ 28.6
合計	6,273,518	6,027,226	246,292	4.1

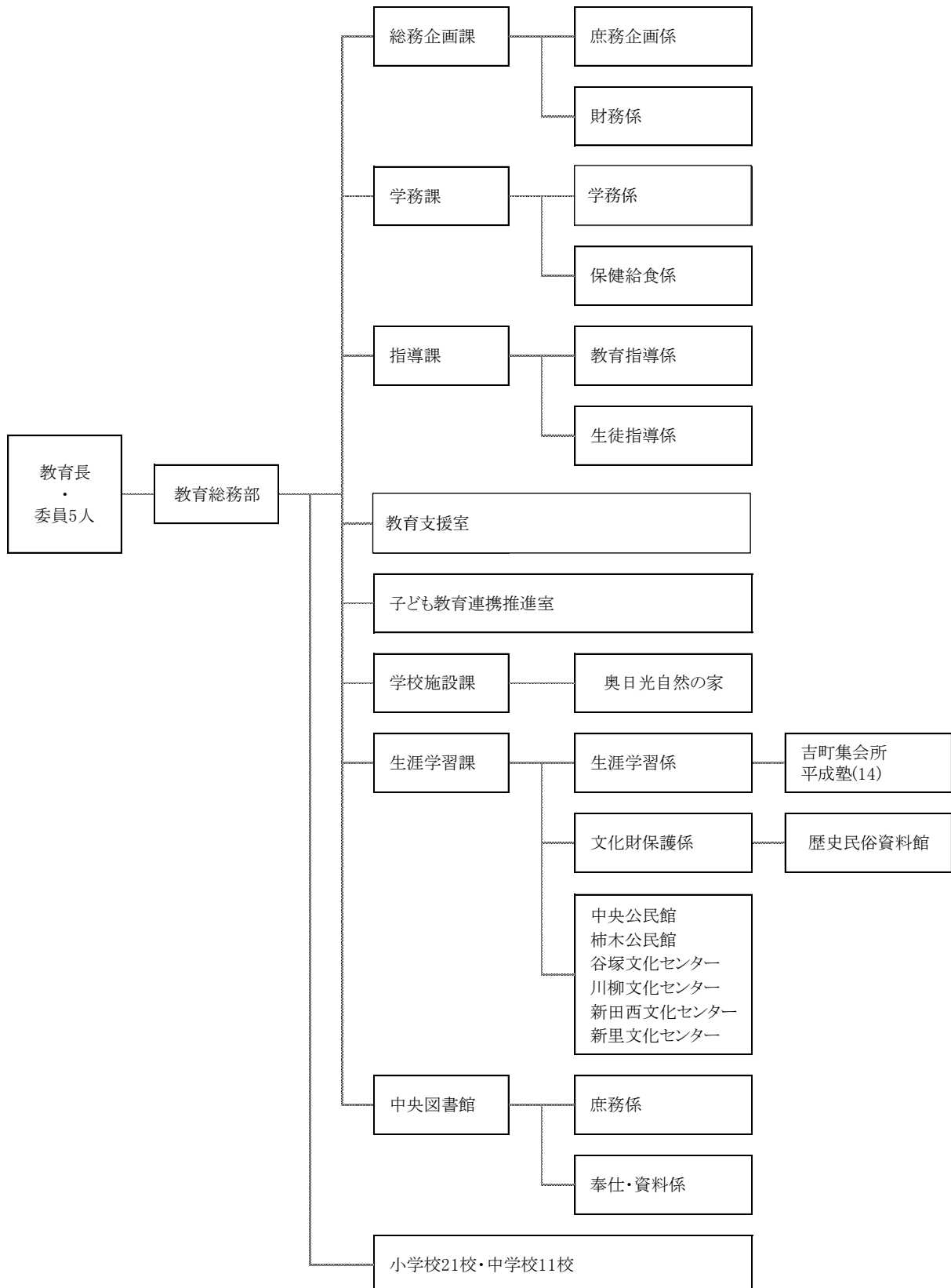
○ 令和3年度一般会計歳出予算（当初）の構成



○ 令和3年度教育費（当初）の構成



教育委員会の組織



教育委員会の事務分掌

教育総務部		
総務企画課	庶務企画係	教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関すること。 教育委員会の会議に関すること。 教育委員会の秘書事務に関すること。 学校の設置及び廃止に関すること。 教育委員会規則等の制定及び廃止に関すること。 職員（県費負担教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関すること。 職員（県費負担教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関すること。 儀式及び表彰に関すること。 文書等の配布及び発送に関すること。 文書事務の指導に関すること。 公印の管理に関すること。 教育委員会事務局内の調整に関すること。 他の課に属さない事務に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	財務係	予算の作成及び調整に関すること。 学校予算の配当に関すること。 物品の購入、委託その他の契約に関すること。 教育財産の統括に関すること。 「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関すること。 教育の調査統計及びその分析に関すること。 入学準備金及び奨学資金の貸付けに関すること。 その他財務に関すること。
学務課	学務係	県費負担教職員の服務及び人事に関すること。 学級編成及び児童生徒数の管理に関すること。 学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 学齢簿の編製及び保管に関すること。 要保護・準要保護児童生徒の援助費に関すること。 通学区域の設定及び改廃に関すること。 学校の運営の基本的事項に関すること。 学校基本調査に関すること。 学校評価に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	保健給食係	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。 児童等災害対策基金に関すること。 学校給食の計画及び推進に関すること。 学校給食用備品の維持管理に関すること。
指導課	教育指導係	教職員研修及び各種教育研究会に関すること。 教科等の指導に関すること。 教育課程の編成及び管理に関すること。 教育研究奨励に関すること。 学校教育調査に関すること。 安全教育等に関すること。 国際理解教育の推進に関すること。 情報教育の推進に関すること。 環境教育の推進に関すること。 進路指導に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 教科用図書無償給与事務に関すること。 校外行事等に関すること。 学校における人権教育に関すること。 児童生徒の事故に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	生徒指導係	生徒指導に関すること。

教育支援室		特別支援教育に関すること。
		教育相談に関すること。
		その他室の庶務に関すること。
子ども教育連携推進室		幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の連携の推進に関すること。
		幼児期の教育に関すること。
		家庭教育への支援に関すること。
学校施設課		学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関すること。
		学校施設の設備の保全及び委託に関すること。
		奥日光自然の家に関すること。
		学校施設の整備計画に関すること。
		学校施設の建設及び大規模改修等に関すること。
		学校施設の安全に関すること。
		学校施設の使用許可に関すること。
		その他学校施設に関すること。
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の企画及び推進に関すること。
		生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。
		社会教育施設に関すること。
		社会教育機関の相互調整及び社会教育関係団体の育成に関すること。
		生涯学習における人権教育に関すること。
		新成人のつどいに関すること。
		栄小学校施設の一般使用に関すること。
		その他課の庶務に関すること。
	文化財保護係	文化財の保護に関すること。
		歴史民俗資料館に関すること。
		市史の刊行に関すること。
		歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。
		公文書館の整備推進に関すること。
中央図書館	庶務係	図書館運営に関すること。
		施設管理に関すること。
		多目的ホール的一般使用に関すること。
		その他図書館の庶務に関すること。
	奉仕・資料係	図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。
		郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。
		その他図書館資料に関すること。
		図書館資料の利用に関すること。
		レファレンス・サービスに関すること。
		文化事業の企画及び運営に関すること。
		その他図書館の奉仕に関すること。

Ⅱ 子 ども 教 育

「子ども教育」の連携を推進

1 目指す「草加っ子」（１５歳の姿）を育む幼保小中を一貫した教育を推進しています。

目指す「草加っ子」（１５歳の姿）である「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子を育むために、０歳から１５歳までを、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育む連続した教育期間と捉え、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校・家庭・地域が共に子どもたちの育ちを支える「子ども教育」の連携を推進しています。

幼保小中を一貫した教育の実践により子どもの自己肯定感・自己有用感を育み、変化の激しい社会を生き抜く力の根幹をつくりあげます。

各中学校区において定めた「目指す子ども像」を園、学校、家庭、地域が共有し、その実現に向けて、各園、各学校において、１５年間を通じたカリキュラムを編成・実施するとともに、系統性のある教育を行っています。

2 日々の教育・保育を支援する資料の活用を促進することにより、幼保小中を一貫した教育を推進しています。

(1) 目指す「草加っ子」（幼保小中教育指針）

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子を育むため、０歳から１５歳までの発達段階ごとに、「生活」「人とかかわり」「自ら学ぶ」の各領域について、「具体的な取組事項」を定めた教育の指針です。

この指針により、どの園、どの学校であっても教職員が子どもの育ちや中学校卒業時の姿を共有し、その実現を目指した教育を進めます。

(2) 草加市幼保小中一貫教育プログラム

本市の幼児教育・義務教育における現状や課題を踏まえ、各発達段階等間において重要となる考え方と、接続期及び移行期を含めて幼保小中を一貫した教育を一層充実させていくための交流・連携の実践例を示した資料です。

このプログラムにより、資質・能力の育成という観点からカリキュラムに一貫性をもたせるとともに、０歳から１５歳までの子どもの育ちを見通すための交流や連携の充実を図ります。

(3) 草加っ子 にこにこ わくわくプラン

小学校入学までに身に付けたい力を育むために、乳幼児期に「生活する力」「人とかかわる力」「自ら学ぶ力」に関して経験させたい内容や実践事例を、発達の時期ごとに示した、幼稚園教諭・保育士向けの指導資料です。中期の保育計画・指導計画を立てたり、保育事例を日々の教育・保育に生かしたりします。

(4) 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム

０歳から１５歳までの子どもの育ちに見通しをもって、系統性を踏まえた学習指導を行うために、各教科等の「学び」のつながりを明らかにし、達成すべき目標等をまとめた資料です。小中学校の教員がつながりを意識した授業を実践したり、年間指導計画を立てる際に活用したりします。

(5) 小中学校教育課程指導資料（国語、算数・数学）

児童生徒の学力や意欲を伸ばし、思考力の育成や知識・技能の定着を図るために、幼児期の教育から中学校卒業までを見通した国語や算数・数学の系統的な指導が実践できるよう支援します。

(6) 学ぼう！ふるさと草加

ふるさと草加について学び、地域に誇りと愛着をもてる児童生徒を育成するために、実践事例や授業で活用できる地域の教育資源などを示した資料です。また、児童生徒が草加への理解を深め、関心をもてるようにするため「草加大好き！パリポリドリル」を関連資料として配布しています。各学校では、生活科及び総合的な学習の時間を中心に「ふるさと草加学習」を実践する際に活用します。

3 講座・講演会や各種リーフレットを通して、家庭教育の充実を図ります。

(1) 「親の学習」講座の開催

- ① 小中学校入学前など、子どもの成長の節目において、保護者向け「親の学習」講座を開催します。親が親として育ち、就学・入学までに家庭で準備すべきことや子どもとの関わり方について支援します。
- ② 近い将来、親になる中学生を対象として、中学生向け「親の学習」講座を全中学校で実施します。親になることに向き合い、大人になることに希望がもてるよう支援します。

(2) 子育て講演会の開催

0歳から15歳までの子どもをもつ保護者及びこれから親となる方を対象として、「子育て講演会」を開催し、子どもと保護者との接し方や関わり方など、子育てに関して学ぶ機会を提供することで、保護者の不安の軽減を図ります。

① 乳幼児期の子育て

これから親となるの方や乳幼児を子育て中の保護者を対象に、リーフレット「笑顔で子育て」の内容にふれながら、乳幼児期の親の関わり方などについて講演します。

② 小学校入学前後の子育て

次年度小学校へ入学するお子さんの保護者や小学校1・2年生の保護者を対象に、リーフレット「笑顔で子育て」「もうすぐ1年生」などの内容にふれながら、小学校入学前後の親の関わり方等について講演します。

③ 思春期の子育て

小学校3年生から中学校3年生までの保護者を対象として、リーフレット「笑顔で子育て」「エンジョイ！中学校生活」などの内容にふれながら、思春期の子どもたちの状況や子どもとの関わり方などについて講演します。

(3) 保護者向け子育てリーフレットの配布

子どもの発達段階に応じて、家庭で取り組んでほしいことをまとめたリーフレットを配布し、見通しをもって子育てや就学・進学準備ができるよう支援します。

① 笑顔で子育て

保護者が安心して子育てができるよう、子どもの発達の時期ごとに家庭で大切にしたいことをお知らせするリーフレットです。

② もうすぐ1年生

入学までに身に付けてほしいことをお知らせし、子どもたちが充実した小学校生活を送れるようにするリーフレットです。

③ エンジョイ！中学校生活

中学校生活の様子を紹介し、子どもたちが充実した中学校生活を送れるようにするリーフレットです。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育を受ける機会を与えるとともに、経済的な理由から修学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

区 分		入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額（月額）
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校 専 修 学 校	国 立 ・ 公 立	100,000円	10,000円
	私 立	300,000円	20,000円
短 期 大 学 大 学	国 立 ・ 公 立	200,000円	15,000円
	私 立	500,000円	30,000円

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、草加市において、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

対 象	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

計画的な学校教育施設整備の推進

令和3年度は、トイレ環境の改善に向けて中学校8校8か所のトイレ改修工事、小学校6校・中学校1校の屋内運動場へのエアコン設置等工事を行います。

なお、令和4年度までに、すべての小中学校でのエアコン設置等工事完了を目指し取り組みます。

また、中学校7校7か所のトイレ改修設計の作成を順次進めます。

そのほか、小中学校に必要な修繕及び工事も実施し、安全で快適な学習環境を維持します。

教育施設の紹介

○奥日光自然の家

中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国有林にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

例年、5月から11月初旬まで一般の方に施設を利用していただいております。また、7月から9月にかけて、市内の小学校5年生・中学校2年生を対象に、3泊4日で自然教室を開催していますが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、宿泊を伴わない活動として実施し、一般利用は、感染拡大の状況を踏まえ、見合わせています。

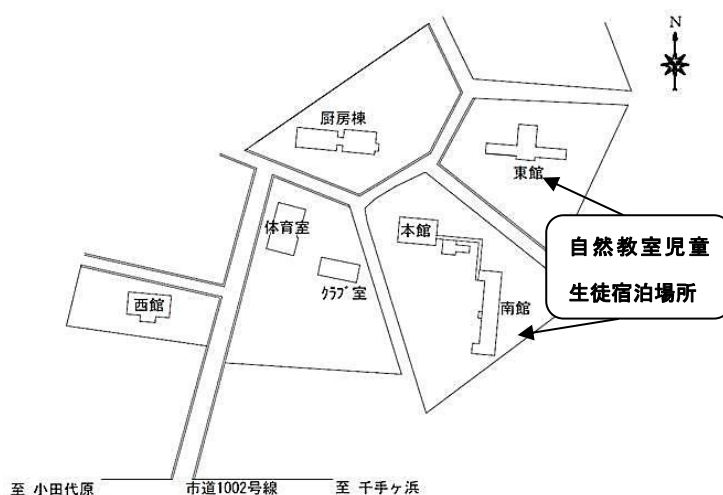
- ・所在地：栃木県日光市中宮祠官有無番地
- ・施設概要：宿泊棟4棟（本館、南館、東館、西館）、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室（定員4人）5部屋 洋室（定員6人）5部屋
- ・宿泊料金（市内料金）：大人1人1泊1,540円 4歳～中学生770円
- ・食事料金：夕食 Aコース1,512円 Bコース2,700円
朝食 810円 昼食 324円

草加市立奥日光自然の家配置

一般利用客宿泊場所（西館）



クリンソウ（6月開花）



自 然 教 室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」を利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的な触れ合いの中で、より良い人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした取組です。豊かな心の育成が大きな教育課題の一つになっている今、ますます自然教室での自然との触れ合いや仲間との交流活動などの学習が大切になっています。

平成26年度には、試行として草加市と姉妹都市である福島県大沼郡昭和村でも自然教室を実施しました。平成27年度以降、昭和村自然教室として一部小学校で実施しています。

令和3年度は、奥日光自然教室に加え、国立青少年教育振興機構の施設を利用した自然教室を試行します。いずれの施設も自然豊かな環境にあり、充実した自然体験活動を行うことができます。

2 実施計画の概要

○小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の状況により、変更または中止となる場合があります。

3 自然教室の経緯

○昭和60年 蓼科林間学校が廃止される。

○昭和61年 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。

(4大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)

奥日光自然の家において自然教室を実施する。

(小学校3泊4日、中学校4泊5日)

○平成7年 小学校・中学校とも3泊4日とする。

○平成17年 草加市立小中学校自然教室20周年記念式典を行う。

○平成26年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で試行する。

○平成27年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校4校で実施する。

○平成28年 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を行う。

○令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

○令和3年度 国立青少年教育振興機構の施設を利用した自然教室を試行する。

奥日光自然教室は宿泊を伴わない活動として実施する。

学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館の機能

学校図書館は、児童生徒の読書活動等の場である読書センターとしての機能、主体的な学習活動を支援するなどの学習センターとしての機能、情報の収集・選択・活動能力を育成する情報センターとしての機能を有しています。

- (1) 司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習・情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校司書を採用して、全小中学校に配置し、学校図書館教育への支援を行っています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒が読書に親しむ態度の育成を図っています。

「子ども読書活動推進計画」の理念の実現に向けて、児童生徒の読書環境の充実を図っています。

3 成果

各校の取組により、小中学校合わせて年間4万5千4,578冊の貸出しがあり、読書活動の充実が図られています。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は、国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚と、主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。

本市では、外国語・外国語活動の充実に向け、語学指導助手（ALT）を全小中学校に各1人、32人を配置しています。外国語・外国語活動の授業を中心に、国際理解教育、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

また、日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供する通級指導を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とALTとのチームティーチング等を通し、生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養っています。また、草加市独自の副教材「センテンス・マラソン」を中学校全学年生徒に配布し、「書くこと」の能力の充実に努めています。

さらに、平成29年度より、英語検定試験推進事業を実施しています。中学校第3学年の全生徒が、英語検定試験を受検し、国の目標である中学校卒業時3級合格を目指します。3級受検料4,800円を上限に補助を行い、英語教育の推進に取り組んでいます。

3 小学校における外国語・外国語活動

小学校の、3年生・4年生では外国語活動、5年生・6年生では外国語が行われています。担任教師が中心となり、教科書や文部科学省作成の教材等を活用し、ALTとのチームティーチングを行うなど、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことを通して、国際理解を深めることができるよう実施しています。

また、草加市独自の副教材「Paripori English Book (パリポリ・イングリッシュ・ブック)」を活用し、言語活動や文字指導に取り組むなど、積極的にコミュニケーションができる児童の育成に努めています。

4 日本語支援事業「SOKAいっぽ」・国際理解教育補助員の配置

草加市国際相談コーナーと連携し、日本語指導を必要とする外国人児童生徒等に対して、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供するために、日本語指導支援員を1人配置し、日本語指導を支援する「SOKAいっぽ」を開室しています。

また、日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（8人）を配置し、該当児童生徒の実態に応じた日本語支援を行っています。

5 成果

取組により、外国語を通して外国の言語や文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。

日本語指導においては、日本語を学ぶ機会を提供することで、日本語学習への意欲が高まり、日本における生活の基礎を身につけることができます。また、対象児童生徒がスムーズに学校や学級に慣れることができます。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育の目標は、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の育成を図ることです。

小中学校では、プログラミング教育の充実と各教科や領域においてＩＣＴを積極的に活用し、学習活動における情報教育の推進を図ります。

2 主な取組

(1) ＩＣＴ環境の整備

- ・タブレット端末を全児童生徒に各１台整備
- ・全校の情報教室に２ｉｎ１コンピュータ（ノート・タブレット両用）各４１台を整備
- ・全校に移動用２ｉｎ１コンピュータ（ノート・タブレット両用）、電子黒板等を整備
- ・全校の学校図書館にコンピュータ各２台を整備
- ・全校の普通教室・特別教室にインターネット高速通信回線接続
- ・小中学校県費負担教職員に教育用兼校務用コンピュータを整備
- ・小学校２１校、中学校１１校にタブレット型コンピュータ、電子黒板及び大型提示装置を整備

(2) 情報教育研修会

情報教育に関する教員の資質向上のために、ＩＣＴ機器活用研修会を実施します。

また、各学校ではＩＣＴ支援員を活用しながら情報教育の校内研修などに取り組みます。

(3) 情報教育推進委員会

学校における情報教育の推進を図るため、ＧＩＧＡスクール構想により、児童生徒一人ひとりにタブレット端末が配られました。その活用方法の検討提案等を行います。また、ＩＣＴ機器の活用の仕方、ＩＣＴ機器を活用した学習活動の在り方やプログラミング教育についての研究を行い、更なる情報教育の推進を図ります。

(4) 授業でのＩＣＴ活用

小中学校にデジタル教科書を整備し、授業で活用しています。また、全小中学校に整備するタブレット型コンピュータ及び電子黒板を活用することにより、児童生徒に思考力、判断力、表現力、情報活用能力を身に付けさせる授業を展開します。

3 成果

取組により、各校でのＩＣＴを活用した教育活動の充実が図られています。ＩＣＴ機器等を整備し、授業でのＩＣＴ活用を進めることで、児童生徒の学習意欲や予測困難な時代を生き抜く情報活用能力の向上が図られています。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。

教育委員会では、平成4年度から学校教育の場において市廃棄物資源課と連携し、市内小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。

平成16年度からは、市廃棄物資源課と連携して、市内の小中学校でアルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した取組を行っています。

1 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組
- (3) 学校ビオトープ維持管理等への支援
- (4) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルの取組
- (5) エコライフDAY（県）の積極的な参加
- (6) 小学校5年生・中学校2年生全員参加による自然教室を通した環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、市内の小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。
- (2) 関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っていきます。

教 職 員 の 研 究 ・ 研 修

「生きる力」を身に付け、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子（15歳の姿）の実現を目指し、「指導の基」や「草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム」等の効果的な活用をとおして、各校の課題研究に対する支援や、教職員の資質向上・指導力向上に資する研修会を実施しています。

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や教職員によって運営される草加市教育研究会の要請に応じ、指導主事が各校を訪問し、指導助言を行っています。
- (2) 学校訪問：市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校全32校を訪問し、指導助言を行っています。

2 教職員研修

- (1) 県教育委員会主催：初任者研修、ステップ・アップ研修、ジャンプ・アップ研修、5年経験者研修、中堅教員等資質向上研修、20年経験者研修、特定研修、人権教育

研修等を実施しています。

- (2) 市教育委員会主催：新採用教員研修、3年次教員研修、5年経験者研修、キャリア・アップ研修、臨時的任用教員・任期付教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育等の研修会を実施しています。

3 草加市教育委員会研究委嘱校・委嘱団体

- (1) 草加っ子生き生きプラン「生きる力プラン」

【研究委嘱校 令和2～令和3年度】

令和3年11月16日

瀬崎中学校区（高砂小学校・瀬崎小学校・瀬崎中学校）

自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり

令和4年2月1日

青柳中学校区（川柳小学校・八幡北小学校・青柳中学校）

主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり

【研究委嘱校 令和3～令和4年度】文書発表

新栄中学校区（新栄小学校・清門小学校・新栄中学校）

自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり

新田中学校区（新田小学校・長栄小学校・新田中学校）

主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり

稲荷中学校区（稲荷小学校・松江中学校）

主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり

- (2) 草加っ子生き生きプラン「読書活動推進プラン」

【研究委嘱校 令和4年2月10日】

草加中学校区（草加小学校・西町小学校・草加中学校）

「多様な読書体験から、自ら読書に親しむ児童生徒の育成」
～読書環境の整備・読書習慣に関する取組を通して～

川柳中学校区（八幡小学校・青柳小学校・川柳中学校）

「自ら本に手を伸ばし、主体的に学ぶ児童生徒の育成」
～子どもが行きたくなる学校図書館運営を通して～

4 成果

研究奨励校が、それぞれ学習指導要領の理念や内容についての研究を深め、それらを発表することで、取組が市内の各校に広く周知されました。そのことにより、教職員の指導力の向上が図られ、児童生徒の生きる力の育成につながっています。

生徒指導

1 生徒指導の目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消を始め、学校支援の充実を通して、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組を通し各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 様々な学校の問題に対して直接的に支援できる体制として、平成25年度から「草加市立小中学校問題解決支援チーム（TEAM 3S）」が発足し、年10回の会議を開催しています。
- (2) 指導課に生徒指導担当指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣を通して、教員が子どもと関わる時間を確保し、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実に努めています。
- (3) 豊かな人間性の育成を目指して、道德教育の充実を図るため、埼玉県道德教育教材資料集「彩の国の道德」の活用や「特別の教科 道德」などの工夫・改善について、学校訪問での指導助言や道德教育推進教師研修会等を実施しています。また、豊かな体験活動として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (4) 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づいて、造血幹細胞の適切な提供の推進を教育的観点から捉え、「いのちの絆をつなぐ教育」として学校教育の中で推進していくことを目的に、豊かな心推進事業を平成27年度から行っています。

小学校では、5年生、中学校では2年生を対象に、「造血幹細胞移植」に係る授業を実施します。

- (5) 「いのちの教育ランドデザイン」を作成し、「いのちの大切さ」を実感することができる学習を通して、子どもが自他のいのちはかけがえないこと、生を受けたことへの感謝、生きることの尊さを理解する「いのちの大切さ」を実感させる教育を推進します。
- (6) 指導課に設置しているフリーダイヤル等による電話相談、教育支援室における来室相談を行っています。
- (7) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。

- (8) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校との連携を図っています。
- (9) 学校・家庭・地域がいじめに対しての関心を高め、防止していこうとする態度や意識を持つことを目的に、平成25年度より市内全小中学校の児童生徒、教職員、保護者、PTA役員等を対象とした「いじめ撲滅サミット」を開催しています。
- (10) 平成30年3月に「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を改定するとともに、各校で「学校いじめ防止基本方針」を定めました。
- (11) 平成30年度から、中学校第1学年を対象に、匿名でいじめ等を報告・相談できるアプリ「STOP i t (ストップイット)」を導入し、いじめ問題に対する「脱・傍観者」意識を育成するための授業を実施しています。
- 令和元年度からは、中学校全学年に導入し、更にいじめ問題の情報収集が拡大され、早期解決につながると考えています。

教 育 相 談

1 教育支援室

草加市教育支援室は、昭和46年の設置後、平成13年2月に場所の移転及び組織の改編を行い、内容、施設ともに充実を図りました。また、平成19年4月から、学校への支援を積極的に行うという視点のもと、教育相談室から教育支援室へと名称を変更しました。専門的な立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して相談に応じ、一人ひとりの子どもたちのより望ましい成長と自己実現への支援を行っています。

2 教育相談等の内容と対応する職員等

(1) 内容

①一般教育相談 ②巡回教育相談 ③学級支援 ④学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設 ⑤就学相談 ⑥ことばの相談 ⑦学校教育相談活動への支援 ⑧各種研修会の実施 ⑨障害児就学支援委員会、調査専門員の活動 ⑩特別支援学級設置校及び通級指導教室開設校への支援 ⑪「教育支援室リーフレット」「就学支援の手引」「スクールソーシャルワーカー活用の手引」「スクールソーシャルワーカー活用のためのリーフレット」等の発行

(2) 職員等

①室長 ②指導主事等7人 ③学校支援指導員3人 ④特別支援教育指導員1人
⑤「ふれあい教室」指導員2人 ⑥臨床心理士・臨床心理専門員4人 ⑦特別支援相談員3人 ⑧巡回相談員3人 ⑨ことばの相談指導員1人 ⑩通級指導教室指導員2人
⑪特別支援教室相談員1人 ⑫スクールカウンセラー12人（小学校3、中学校9）
⑬スクールソーシャルワーカー11人（県費2、市費9） ⑭草加市さわやか相談員11人 ⑮特別支援教育支援員29人 ⑯特別支援教室児童担当指導員2人

3 教育支援室対応状況の概要

(1) 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数

(単位：人)

	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	39	280	78	344	102	346	65	335	75	340
知的発達相談	109	391	143	556	128	400	89	401	122	518
情緒障がい	194	926	215	1,166	257	964	124	788	140	858
集団不適応	156	286	164	283	210	482	170	296	141	228
いじめ相談	13	30	15	26	33	217	9	27	6	11
性格行動	6	9	2	17	2	17	3	16	0	15
あそび・非行	4	12	5	13	5	11	5	35	13	55
しつけ	4	6	3	5	2	8	3	12	1	10
就学・進路	5	9	4	5	1	1	1	6	3	8
生活行動	34	76	8	31	8	22	9	44	30	135
学習面	152	556	156	659	35	679	194	1,468	111	2,097
不登校	449	2,241	483	2,843	409	2,079	301	3,090	537	4,216
就学相談	375	754	295	877	268	1,330	238	863	288	1,009
その他	731	1,405	756	1,443	876	1,556	674	1,658	504	1,250
合 計	2,271	6,981	2,327	8,268	2,336	8,112	1,885	9,039	1,971	10,750

(2) ふれあい教室利用者実人数及び延べ人数

(単位：人)

平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
25	1,254	22	1,278	31	1,159	37	1,904	29	1,940

4 成果

市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、一人ひとりの児童生徒の課題の解決が促進されました。

いじめ、不登校問題に関しては、学校配置のスクールカウンセラー、さわやか相談員、教育支援室の臨床心理士により本人、保護者に寄り添った丁寧な相談活動の充実が図られました。スクールカウンセラーは小学校にも全校配置になり、小学校での様々な問題行動について心理の面からのサポートが進められました。

学校適応指導教室「ふれあい教室」では、教育支援室と保護者、学校と連携して個に応じた対応に努め、支援を進めていくことで学校に復帰できた児童生徒が見られました。また、進路面でも保護者、学校との連携により、適切な進路先を決定することができました。

特 別 支 援 教 育

1 特別支援教育の目標

特別支援教育は、障がいのある幼児、児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標にしています。

通常の学級に在籍する発達障害を含む教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒及び、障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校に校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 草加市の特別支援学級

草加市には、特別支援学級を設置している小学校が全21校52学級、中学校が全11校25学級あります。知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が設置され、児童生徒一人ひとりの障がいの状態、発達段階、特性に応じた教育を行っています。

【令和3年度特別支援学級設置状況】

令和3年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	生徒数	学級数
草加小	8	2	新栄小	9	2	草加中	13	2
高砂小	10	2	清門小	16	3	栄中	12	2
新田小	23	4	稲荷小	10	2	谷塚中	11	3
谷塚小	13	3	氷川小	10	2	川柳中	6	2
栄小	17	3	八幡北小	10	2	新栄中	11	3
川柳小	18	4	長栄小	14	2	瀬崎中	4	2
瀬崎小	12	2	青柳小	4	2	花栗中	3	2
西町小	8	2	小山小	10	2	両新田中	10	2
新里小	16	3	両新田小	9	2	新田中	14	3
花栗南小	5	1	松原小	13	3	青柳中	12	2
八幡小	20	4	合計 32校77学級359人			松江中	8	2

3 草加市の通級指導教室

通常学級に在籍していることば・きこえに課題のある児童のための通級指導教室は、小学校3校に4教室設置されています。また、発達・情緒等に課題がある児童生徒のための通級指導教室も小学校3校に5教室、中学校1校に1教室設置されています。

それぞれの教室では、児童生徒の言語面や情緒面等の課題改善のための教育を推進しています。

【令和３年度通級指導教室設置状況】

令和３年５月１日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	２８	２	氷川小 (発達・情緒)	２４	２	八幡小 (発達・情緒)	１３	１
松原小 (難聴・言語)	１６	２	氷川小 (難聴・言語)	１３	１	八幡北小 (難聴・言語)	１６	１
栄中 (発達・情緒)	１４	１				合計 ６校１０教室１２４人		

４ 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業を通して、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、保護者が適切な判断をしていけるよう支援しています。

- ・特別支援教育指導員や臨床心理士による計画的な学校訪問を実施することを始めとして、より児童生徒、保護者及び学校のニーズに応じた専門的な支援を推進しています。
- ・各学校における就学相談委員会などでの相談を始め、早期からの多角的な相談をもとに就学に係る教育的支援を推進しています。
- ・就学に係る教育的支援を行うために、専門機関の方々、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。
- ・巡回相談員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。
- ・通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。

５ 成果

- (１) 就学予定児や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援が図られています。
- (２) 知的障害特別支援学級については、川柳小学校に１学級増設し、栄小学校、草加中学校、両新田中学校の３校で各１学級減級となりました。自閉症・情緒障害特別支援学級については、新田小学校、谷塚小学校、新里小学校、八幡小学校、新栄小学校、松原小学校の６小学校と、新栄中学校、新田中学校の２中学校に各１学級増設し、市内の特別支援学級は、全小学校に合計５２学級、全中学校に合計２５学級を設置し、２５５人の小学生と１０４人の中学生、合計３５９人の児童生徒が在籍しています。また、通級指導教室については、難聴・言語障害３校４教室、発達障害・情緒障害４校６教室を設置し、合計１２４人の児童生徒が在籍しています。これらの学級・教室の設置により、地域で指導ができる体制づくりを構築するとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに一層応じられるようになっていきます。

- (3) 特別支援学級等に29人の特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるための教育活動への支援が図られています。
- (4) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談・就学に係る教育的支援が推進されています。
- (5) 巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援・指導方法についての助言に努めています。
- (6) 通級指導教室に指導員を派遣し担当教員の資質の向上を図ることにより、児童の課題の克服や改善に向けた支援が図られています。
- (7) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において、「支援籍学習」に取り組み、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進が図られています。
- (8) 特別支援教育指導員を配置し、特別支援学級への巡回支援を行い、担当教員の指導力の向上と特別支援教育の充実が図られています。
- (9) 特別支援教育担当教員育成研修会を行い、特別支援教育に携わる人材の発掘及び育成が図られています。
- (10) 特別支援教室児童担当指導員を2人配置し、通常の学級の中で現在不応を起している、または今後不応を起す可能性のある児童に対して、特別支援学級の弾力的運用等、個別の指導・支援を行ったり、個別の教育支援計画作成に対する助言を行い、成果が上げられています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、草加小学校において昭和23年に週3回のミルク給食から開始されました。なお、完全給食は、小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場である他は、各校単独調理場方式（自校方式）で実施されています。

単独調理場の長をいかして、学校行事や児童生徒の嗜好等を考慮したきめ細かな献立により、心のこもった給食づくりを実施し、児童生徒の健やかな心と体の育成を目指しています。

なお、平成18年度から中学校の学校給食調理業務を、段階的に民間の専門会社に委託する方式を導入し、平成20年度から民間委託方式が新田中学校を除く全中学校で導入されましたが、これまでと変わらない、手づくりのおいしい給食を提供しています。

【令和3年度学校給食費】

区 分	月 額	年 額	年間給食回数	一食当たり
小学校	4, 3 0 0 円	4 7, 3 0 0 円	1 8 8 回	2 5 1 円
中学校	5, 1 0 0 円	5 6, 1 0 0 円	1 8 8 回	2 9 8 円

1 学校給食の目標

(1) 給食は「心の教育」

学校給食は、望ましい食習慣の形成、望ましい人間関係の育成をねらいとして、特別活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。本市においては、異学年と一緒に食べるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や屋外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込んでいます。

さらに、本市のシンボルである草加松原の絵柄を用いた食器を使用し、児童生徒のふるさと意識を醸成しています。また、各校に設置された調理場で働く調理士との交流を通じ、感謝の心を育て、仲間で協力し合って食器を運び、配膳すること等で、望ましい人間関係の形成を図っています。

(2) 計画的な栄養指導と献立の多様化

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代といわれる中であって、必ずしも良好とはいえません。カルシウムの摂取が不足がちになる一方で、動物性たんぱく質や動物性脂肪の摂取が過多になる傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない正しい食生活が重要です。

そこで、本市の学校給食では、次の点に留意し、実施しています。

○不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。

○緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・種実類・芋類の摂取に心掛ける。

○旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。

○不必要な食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

以上のことや「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂が過剰にならないよう配慮し、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、栄養のバランスのとれた献立内容とするための工夫改善をしています。

また、成長期にある児童生徒が自らの健康の維持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

さらに、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成を目指しています。

(3) 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒・感染症の発生等の事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

(4) 食材の安全と安心

学校給食において、食の安全と安心は欠かせません。安全な産地の食材を使用するとともに、使用食材の放射性物質検査を行い、食材の安全性を確認し、学校給食の安全と安心の確保に努めています。

(5) 新型コロナウイルス感染症対応

令和３年度においては、昨年度に引き続き、児童生徒、教職員の手洗い及び手指の消毒を徹底しているほか、飛沫感染防止ボードを使用し、喫食時は座席を対面にせず、会話をしないように指導するなど、感染拡大防止に努めています。

2 強化磁器食器の導入

本市では、平成３年４月から小学校全学年に、平成４年２月から中学校全学年に本市のシンボルである草加松原の絵柄の強化磁器食器を導入しました。温もりのある材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気づくりや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努めています。

3 地場産食材の使用・郷土食等の導入

市内で生産された枝豆、小松菜、くわいなどの野菜を中心に、採れたての地場産食材を積極的に使用する取組や、献立に各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を見直す「一汁二菜の日」など、生活と食との結び付きに着目した取組を行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

現下の新型コロナウイルス感染拡大防止をはじめ、社会環境、生活習慣の変化による生活習慣病の増加やアレルギー疾患への対応、薬物乱用の防止など早急に取り組まなければならない問題が山積し、児童生徒の心身の健康の保持増進を図るために必要な知識と態度の習得を目的とする健康教育がますます重要になってきています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や疾病そのものを予防する「一次予防」への取組など、自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心身の問題解決への支援がますます必要とされてきており、これからも学校、家庭及び地域の三者が一体となった連携が重要です。

人生の基礎となる学校生活が、児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう、健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断を始めとし、児童生徒及び教職員の様々な検診を実施し、事前・事後指導を通じて健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生を対象に、日々の生活習慣が深く関わる小児生活習慣病予防健診を平成4年から実施し、年少のうちから自分の健康は自分でつくるという自己健康管理の視点で充実を図ります。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施し、平成20年度からは、地域の中核病院である草加市立病院で心臓精密診療（精密検査）を実施しています。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒のアレルギー疾患において、「学校生活管理指導表」を活用し、これまで以上に適切な管理を図るほか、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、インフルエンザや麻疹等の感染症予防対策を一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。
- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配備し、「いざ」というとき、いつでも・どこでも・だれでもAEDを使用できるよう、消防本部と連携し、救命講習会を実施しています。
- (7) 令和3年度においては、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、「3つの密」を避ける、マスクの着用及び手洗いの徹底などの基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減することに努めます。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、マットレス及びベッドなどの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養士及びPTA関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報の発行など）を通して、健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、令和3年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
 - ＜研究主題＞
 - ＜重点教科等＞
 - ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ
 - (2) 取組内容
 - (3) 成果
- など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 23 学級 校長 小松 薫樹
児童数 738 人 教頭 渡辺 真一



- ＜教育目標＞
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
主体的に学習に取り組み、互いに高め合う児童の育成
～児童の個に応じた指導の工夫と
児童が意欲的に学び合える授業づくりをとおして～
- ＜重点教科等＞
算数科「学力向上と授業力の向上」
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
未来へはばたけやきつ子～夢を育む草加小学校～
- (2) 取組内容
 - ①児童一人一人を大切にした教育活動の推進
 - ・日々の授業の充実を図る研修への取組
 - ・草加っ子の基礎・基本への取組
 - ・「夢を育む草加小学校」を目指した授業の実施
 - ②地域と共に歩む学校
 - ・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
 - ・「おはなしの森」地域の人材による読み聞かせ
 - ・学校応援団の充実
 - ③潤いのある学校づくり
 - ・「ふるさと森」「じゃぶじゃぶ池」の整備と教材活用
 - ・「草小みどりの日」「草小もみじの日」の活動
- (3) 成果
 - 149周年目の伝統校として、家庭・学校・地域が一体となり、児童の生きる力の育成が着実に図られている。
 - 児童が夢（目標）をもって学習できるよう、教職員が熱心に取り組んでいる。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 27 学級 校長 石崎 明子
児童数 844 人 教頭 鈴木 克裕



- ＜教育目標＞
あかるく かしく たくましく
- ＜研究主題＞
確かな学力と豊かな心を育成し、
たくましく生きる児童生徒の育成
～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を目指して～
- ＜重点教科等＞
幼保小中を一貫した教育
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校
- (2) 取組内容
 - ①学力向上
 - ・市教委研究委嘱「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究
 - ②幼保小中を一貫した教育
 - ・定期的な交流 挨拶運動
 - ③健康・体力の維持・増進
 - ・すくすく委員会（学校保健・安全委員会）実施
 - ・さわやかタイム等体育的諸活動の充実
 - ④読書活動の推進
 - ・朝読書の推進
 - ・図書ボランティアによる読み聞かせの充実
 - ・図書館便りの発行、図書館内の掲示物・表示物の充実
- (3) 成果
 - 幼保小中の連携が深まり、自己肯定感が上がった。
 - 読書を推進する取組の充実により、図書の貸出冊数が大幅に増加し、読書に親しむ児童が増えた。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 17 学級 校長 小崎 賢司
児童数 417 人 教頭 山本 武



- ＜教育目標＞
よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
学びの生活化・社会化～人・地域・自然とのつながり15歳の姿を育む～
- ＜重点教科等＞
生活科・総合的な学習の時間を中心に
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ 「やる気・本気・根気・勇気」
- (2) 取組内容
 - ①学力向上
 - ・学習規律の統一（話の聞き方、発表の仕方、授業の挨拶）
 - ・高学年での一部教科担任制
 - ・家庭学習強化週間の実施
 - ・基礎学力向上に向け、基礎基本タイムを充実
 - ②幼保小中を一貫した教育の推進
 - ・中学校教諭との外国語・外国語活動
 - ・年長児との「ふれあい給食」を実施
 - ・中学生との合同音楽朝会を実施
 - ③元気なあいさつのあふれる学校
 - ・年間を通した挨拶運動の実施
 - ・地域の方々による挨拶の励行
- (3) 成果
 - 授業方法を学校全体で見直し、発問、板書、話し合い活動の工夫やICTの活用をすることで、児童の学習意欲が向上し表現方法などに多くの工夫が見られた。
 - 幼保小中を一貫した教育が充実するため中学校区の教員との情報交換を行い、地域として子どもを育てるという体制がより充実した。
 - あいさつ習慣が浸透し、笑顔と活気にあふれた学校づくりをすすめることができた。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
 学級数 24 学級 校長 森田 恵子
 児童数 686人 教頭 磯川 剛



＜教育目標＞ やさしく つよく かしこく
 ＜研究主題＞ 主体的・対話的で深い学びの実現
 ～国語科・算数科・特別の教科 道徳の指導を通して～
 ＜重点教科等＞全教科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 「ふるさと ふれあい 谷塚小学校」
 (2) 取組内容
 ○全職員の「熱意・誠意・創意」を結集させ、信頼される学校づくりを推進する。
 ①基礎・基本の定着
 ・学習規律の徹底 ・「谷塚小スタンダード」の継承
 ・朝自習（算数タイム：E-Time：国語タイム）の工夫
 ・「家庭学習のすすめ」を踏まえた家庭学習の充実
 ・「草加サタデースクール」の効果的な運用
 ②幼保小中を一貫した教育を推進する取組・活動の充実
 ・児童一人ひとりを大切に、確かな学力を身につけさせる指導法の研究
 ③学習意欲を高める教育環境の構築
 ・ICTの積極的な活用（電子黒板・タブレット型PC等）
 ④生徒指導・いじめの根絶
 ・基本的生活習慣の確立（あいさつ・返事・廊下歩行）通年
 ・いじめ防止推進法の改正に伴う保護者等への周知徹底
 ⑤家庭・地域・中学校との連携《絆を深める教育活動》
 ・「8が付く日は谷塚の日」あいさつ運動の取組
 ⑥複合施設としての利点をいかした教育活動の創意工夫
 (3)成果
 ○元気な挨拶を交わし、学校大好きな児童が増加。
 ○家庭・地域力を生かした特色ある教育活動の充実。

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
 学級数 23 学級 校長 鈴木 輝子
 児童数 644人 教頭 関 敬之



教育目標＞ よく考える子 思いやりのある子
 ねばり強い子 体をきたえる子
 ＜研究主題＞ 児童が生き生きと活動する授業づくり
 ＜重点教科等＞図画工作科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 「さわやか かつき えがお の さかえ」
 (2) 取組内容
 ①学級・学年経営の充実
 ・魅力ある学級づくり・常に一步前進の教育・協働と協調
 ②学習指導の充実
 ・栄小スタンダードの充実と発展（図画工作科の研究）
 ・家庭教育の充実 ・読書活動の推進
 ③豊かな心を育む指導の充実
 ・道徳教育の充実 ・人権教育の推進 ・特別活動の充実
 ・「いのちの大切さ」を実感する教育の推進
 ④健康な体づくりの推進
 ・体力向上の推進 ・健康の保持増進に係る指導の充実
 ⑤生徒指導の充実
 ・いじめの撲滅 不登校の解消 ・教育相談の充実
 ⑥開かれた学校づくりの推進
 ・コミュニティースクールの充実
 ・幼保小中を一貫した教育の推進（ふるさと草加の取組）
 ⑦特別支援教育の推進
 ・関係諸機関との連携 ・交流教育の充実
 ＜成果＞
 ・外国語活動・外国語科の研究委嘱に取り組み、教師の指導力が向上し、児童のコミュニケーション力を高めることができた。
 ・幼保小中を一貫とした教育の取組や学校運営協議会の実施により、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することができた。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
 学級数 22 学級 校長 谷口 慎一
 児童数 562人 教頭 森田 光信



＜教育目標＞ かしこく なかよく たくましく
 ＜研究主題＞ 学ぶ喜びを味わわせる授業の創造
 ～学級経営を基盤として～
 ＜重点教科等＞ 国語・体育・道徳・特別支援教育
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 「子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活力あふれる川柳小」
 (2) 取組内容
 ①家庭地域の取組
 ・幼保小中を一貫した教育の充実
 ・ノーテレビ・ノーゲームデーの推進（毎月21日）
 ②教育課程の取組
 ・読書の充実（朝読書の活用、図書館貸出目標 23000冊）
 ③各教科・領域の取組
 ・高学年教科担任制の実施（理科、社会、図工、外国語、家庭科、音楽、算数）
 ・ICT教育の推進（クロムブック活用、デジタル教科書・Googleクラスルームの利用）
 ④校内研修の取組
 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 ・校内公開授業の充実
 ⑤その他の取組
 ・学校ファーム整備（枝豆栽培・学年園の開墾）
 ・ICT機器の積極的な活用（クロムブック活用など視聴覚教材）
 ・あおば学園との連携・作品交流

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 19 学級 校長 奥村 勇
 児童数 542人 教頭 長曾 亜希子



＜教育目標＞ 心豊かで たくましい子
 ＜研究主題＞ 確かな学力と豊かな心を育成したくましく生きる児童の育成
 ～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して～
 ＜重点教科等＞ 全教科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 「まなびいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい」
 (2) 取組内容
 ①まなびいっぱい
 ・委嘱研究の推進（自己肯定感・自己有用感を育む授業）
 ・ICTの積極的な活用（GIGAスクール構想の推進）
 ・落ち着いた学級経営（学習規律と良好な友だち関係）
 ②たくましさいっぱい
 ・体力の向上（体育授業の充実、運動遊びの活性化）
 ・保健教育（健康な体づくり、早寝・早起き・朝ごはん）
 ・食育の充実（栄養教諭の授業参加、給食だよりの発行）
 ③やさしさいっぱい
 ・心の教育の充実（道徳教育の充実、あいさつの推進、いじめを許さない学級・学校づくり）
 ・学習環境の整備（清掃活動の徹底、掲示の工夫）
 (3) 成果
 ○委嘱研究を推進し、自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を行うことができた。
 ○新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、工夫して教育活動を進めることができた。

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
学級数 21 学級 校長 須賀 達也
児童数 643 人 教頭 佐々木 和寿



＜教育目標＞
よく考え 工夫する子 心豊かで 思いやりのある子 たくましく ねばり強い子
＜研究主題＞
プログラミング的思考を育む学びの実践 ～情報活用能力の育成を通じたプログラミング教育～
＜重点教科等＞
(1)幼保小中を一貫した教育の推進
(2)ICTの活用
(3)新しい時代に必要とされる資質と能力の育成
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1)キャッチフレーズ 感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
(2)取組内容
①標準カリキュラムを活用した15年間の学びの確立
②草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進
③デジタル教科書等、ICTの積極的な活用
④ICTサポーターの積極的な活用
⑤GIGAスクール構想の具体化
⑥「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
⑦「外国語科・外国語活動」の充実
⑧プログラミング教育の推進
⑨読書活動の推進
(3)成果
○授業改善や各取組の充実が図られ学力の向上が見られた。
○指導計画の中にプログラミング学習を取り入れることで、 めあてを明確にした学習を展開することができた。
○ICT機器を使用しない活動でも、目的を達成するための 手順を、児童が考えられるようになった。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
学級数 24 学級 校長 柳田 加代
児童数 696 人 教頭 篠崎 光浩



＜教育目標＞
かしこく なかよく たくましく
＜研究主題＞
「基礎的・基本的な言語能力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成 ～読むことを中心とした言語活動の創意工夫と国語科の授業づくりを通して～」
＜重点教科等＞
国語科
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1)キャッチフレーズ にっこにこ さわやかあいさつ ともだちいっぱいの新里小
(2) 取組内容
①わかる一学力向上タイム、本とのふれあい・読み聞かせ、T T による指導、少人数指導
②助け合う一兄弟学級交流活動、児童会活動 (募金活動・リサイクル活動)
③鍛える一マラソン・なわとび・各種大会の参加
④ふれあう一学校応援団、ロング昼休み、平成塾、地域学習（藍 染・皮革等の伝統工芸、煎餅焼き等）の充実
⑤つながる一近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校との連携 交流学習、あいさつ運動、地域ふれあいまつり
(3) 成果
○コロナ禍で交流活動は減っているが、地域の学習を通して地域 の一員であると自覚し、学校・地域を大切に想う児童が増えている。
○T Tや学習補助員の活用を通して、個に応じた指導機会を増や すことが学力の向上に結び付いている。
○様々な活動を通して自己肯定感を高めることができています。

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
学級数 17 学級 校長 寺本 博美
児童数 540 人 教頭 鈴木 孝夫



＜教育目標＞
考える子 思いやりのある子 体をきたえる子
＜研究主題＞
心豊かに、自ら考え、解決しようとする児童の育成 ～算数科の誰もが分かる授業を目指して～
＜重点教科等＞
算数科
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ 「あいさつじまん どくしょじまん そうじじまん」
(2) 取組内容
①一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力 の育成
・学びは子どもの夢と希望の中核
②心潤う生徒指導による豊かな心の育成
・一人ひとりが「かけがえのない存在」
③人権を大切にする教育の推進
・自然に笑顔になれること・人も自分も幸せであること。
④体育的活動の充実と体力の向上の推進
・児童一人ひとりの課題に応じた取組に重点を置き、総合的な 体力の向上を図る。
⑤安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
・命、安全を守るため、安全管理や指導の徹底を図る。
⑥地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され 信頼を深める特色ある学校づくりの推進。
・家庭・地域・関係機関等と一体となった教育を推進する。
(3) 成果
○「あいさつじまん 南っ子」をキャッチフレーズとして、 さわやかなあいさつが定着している。
○家庭・地域・学校が一体となった教育を実施。

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
学級数 28 学級 校長 和田 卓
児童数 778 人 教頭 小沼 健寛



＜教育目標＞
勉強する子 良い子 強い子
＜研究主題＞
主体的に学ぶ児童の育成
＜重点教科等＞
国語科・読書活動
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ 「子どもたちがよさや可能性を発揮できる八幡小」
(2) 取組内容
①「やる気で勉強」
・授業を充実し、確かな学力を確実に伸ばす (草加っ子の学びを支える授業の5か条)
・意欲的に学ぶ態度の育成 (タブレットを使った授業の開発と実践)
②「はつきりあいさつ」
・豊かな心の育成(読書活動の充実)
・基本的生活習慣の確立(早寝、早起き、朝ご飯)
③「たくさん運動」
・体力の向上(体育授業の充実)
・健康な体づくり(グリーンコース100周、休まず登校)
④「生きる力を共に教え育てる学校・家庭・地域の絆」
・読み聞かせ、地域パトロール(みはるくん)、農業体験
(3) 成果
○継続した研修により授業改善が図られ、学力が向上した。
○ICT環境の整備により意欲的に学習する児童が増えた。
○コロナ禍においても、学校・家庭・地域が一体となり、工 夫して教育活動を進めることができた。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 15 学級 校長 平野 晴彦
 児童数 412人 教頭 藍原 正明



- <教育目標> なかよく かしくく たくましく
 <研究主題> 夢や希望を持ち、学び続ける子どもの育成
 ～主体的に学びに向かう力の育成を通して～
 <重点教科等> 全教科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 新栄スタンダード「あたり前の事があたり前にできる」
 ～継承の中の創造・全力で挑戦～
 (2) 取組内容
 ①確かな学力を育む教育の推進
 ・タブレット型PCの活用による授業改善
 ・教科担任制授業の推進 ・読書指導の充実
 (年間1～3年50冊・4～6年35冊以上)
 ・「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」
 ・「新栄中学校区家庭学習チャレンジ週間」
 ②豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進
 ・あいさつ運動 ・考え、議論する道徳授業の推進
 ・学級活動の授業の充実(学級会年間10回以上)
 ・花いっぱい活動(植栽ボランティア)
 ③体力向上・健康教育の継続
 ・さわやかタイムを中心とした体育活動の充実
 ・虫歯治療、「早寝早起き朝ごはん」の啓発
 (3) 成果
 ○より一層安全安心を考慮した学校行事や授業公開の実施
 に対して、保護者・学校関係者から高評価を得ている。
 ○新栄中学校区統一の取組が保護者・児童に浸透し、家庭
 で学習・生活習慣がより定着してきている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 30 学級 校長 鈴木 英治
 児童数 892人 教頭 撰 郁子
 小林 和美



- <教育目標> なかよく かしくく たくましく
 <研究主題> 「夢や希望をもち、学び続ける子どもの育成」
 ～主体的に学びに向かう力の育成を通して～
 <重点教科等> 全教科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「児童一人ひとりが輝き、笑顔あふれる学校」
 (2) 取組内容
 ①なかよくの具体化
 ・いじめはしない、させない、ゆるさない
 ・「友だちの日」に互いのよいところを認め合う
 自己肯定感を高める活動の充実
 ・「環境が人を育てる」心を豊かにする掲示物
 ②かしくくの具現化
 ・幼保小中一貫教育で系統的な教育の実施
 ・読書の励行、学校図書館活用の推進
 ・保護者の協力のもとによる家庭学習の定着
 「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」
 「新栄中学校区家庭学習チャレンジ週間」
 ③たくましくの具現化
 ・業前運動さわやかタイムの充実
 ・家庭と連携した「早寝 早起き 朝ごはん」
 (3) 成果
 ○幼保小中一貫教育、乗り入れ授業の実践により
 算数科の学力が向上した。
 ○「障がい者の日」など様々な問題を身近なこと
 として学ぶことで人権感覚が育ってきている。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 17 学級 校長 中田 順一
 児童数 435人 教頭 須賀 由美



- <教育目標> 自ら学び 心豊かに たくましく
 <研究主題> 自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
 ～各教科の指導と評価の一体化を目指して～
 <重点教科等> 算数科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 花さく 夢さく 笑顔さく
 明日への希望 いなりっ子
 (2) 取組内容
 ①児童一人ひとりを大切にする教育の推進
 ・松江中学校区小中一貫教育の取組
 ・授業のユニバーサルデザイン化の取組
 ・「学力向上アクションプラン(仮)」の取組
 ②「働き方改革」の推進
 ・「稲荷小働き方改革ランドデザイン」の取組
 ・働きやすい職場づくりの取組
 ・働きがいの高い職場づくりの取組
 ③家庭・地域との協働
 ・学校運営協議会との連携・協力
 ・パトロールステーションとの連携・協力
 ・学校紹介資料「よく分かる!稲荷小」の作成
 (3) 成果
 ○埼玉県学力・学習状況調査において、伸びが見られ
 るようになってきた。
 ○児童の自己肯定感・自己有用感が高まってきた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 21 学級 校長 岡村 勝成
 児童数 579人 教頭 赤坂 佳美



- <教育目標> 学びあい 助けあって 自分を高める
 <研究主題> 主体的、対話的で深い学びの実現
 ～生き生きと自分の考えを伝え合う子をめざして～
 <重点教科等> 外国語・ICT・ふるさと草加(幼保小中を一貫した教育)
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「潤いと響き、子どもたち一人一人を大切にする あたたかな学校」
 (2) 取組内容
 ①子どもが伸びる学校
 ・主体的、対話的で深い学びの授業の充実
 ・ICT機器の活用(タブレットの有効活用)
 ・道徳教育の充実「考え、議論する道徳の実践」
 ②子どもたちが生き生きと活動する学校
 ・あいさつ、返事、やさしい言葉がけの励行
 ・いじめ防止推進委員会の充実
 ③保護者・地域と共に歩む学校
 ・コミュニティスクールの推進
 ・幼稚園や保育園、中学校との連携・交流の推進
 ・PTAや地域の活動、学校応援団との協力
 ④教育環境を大切にする学校
 ・清掃指導の充実(黙勤清掃等)
 ・季節の草花の世話、木々の手入れ等
 (3) 成果
 ○タブレット端末等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を
 推進し、児童の理解を確かなものにすることができた。
 ○ALTと連携した外国語活動・外国語科の授業により、コ
 ミュニケーション力の向上を図ることができた。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 16 学級 校長 松本 由美
児童数 435人 教頭 蘇武 敏行



＜教育目標＞
なかよく（徳）かしく（知）たくましく（体）
＜研究主題＞
『主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり』 ～学ぶ喜びを味わわせる授業の創造～
＜重点教科等＞ 算数・体育・特別活動
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ 「知・徳・体の調和がとれた笑顔あふれる八幡北小」
(2) 取組内容
①自ら学ぶ力を育てる（学力の伸び率の重視） ○主体的・対話的で深い学びの実現 ○草加市教育委員会研究委嘱
②豊かな人間性を養う（いじめ0、不登校0） ○道徳教育の充実 ○人権教育の充実 ○学校図書館教育の充実 ○生徒指導・教育相談の充実
③たくましく生きる力を養う（新体力テストA+B+C 80%） ○体力向上と健康教育の充実
④ICTの積極的な活用とGIGAスクールの円滑な導入と活用
⑤コロナウイルス感染症対策の徹底
⑥学びを止めない、学びの保障
(3) 成果
○幼保小中を一貫した教育が深まり、校種間の連携が円滑になってきている。 ○集団や自己の課題に対し、合意形成を図ったり、意思決定したりする児童が増えた。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 19 学級 校長 嶋田 弘之
児童数 486人 教頭 長谷川 淳



＜教育目標＞
よく考える子 思いやりのある子 たくましい子
＜研究主題＞
学びの生活化・社会化 ～人・地域・自然とかかわり 15歳の姿を育む～
＜重点教科等＞ 幼保小中を一貫した教育
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ 「笑顔あふれる長栄っ子」
(2) 取組内容
○「生きる力」の理念に基づく徳・知・体の総合的な育成 ・道徳実践力を育む道徳教育（こころのおとの取組） ・考える習慣の定着等、学力の素地づくり ・生命の尊重・感染予防・食育・安全と体力向上 ・資質・能力ベースの評価（草加っ子の基礎・基本を含む）
○幼保小中を一貫した教育課程 ・幼保小接続と小中一貫（スタートカリキュラム、 「学ぼう!ふるさと草加」の実践、乗り入れ授業等の実践）
○『主体的・対話的で深い学び』の実現 ・児童理解（特別支援教育を含む）に基づく学級経営 ・問題発見・問題解決・吟味・論理的思考・見通しと ふりかえりのある授業実践の継続 ・読書の量確保と質向上
○カリキュラム・マネジメントの実施 ・各種調査と幼保中特との連携及び家庭・地域 （学校運営協議会）との連携による子どもの育ちの把握・ 改善・見届け
(3) 成果
○目指す子ども像に関し、園・学校・家庭・地域での 共通理解が図られつつある。 ○学校での生活や学習に落ち着きが見られる。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 14 学級 校長 野村 真一
児童数 362人 教頭 土屋 貴一



＜教育目標＞
あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子 や：やりとげる子 ぎ：きたえる子
＜研究主題＞
自ら学び、共に高め合い、最後まで『やりとげる子』の育成 ～幼保小中を一貫した教育の視点と主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
＜重点教科等＞ 国語
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ 「明るく 元気で 笑顔輝く 青柳小」 三かけ教育の推進（目をかけ、声をかけ、心をかける）
(2) 取組内容
①学力向上（やりとげる子） ・中高学年の授業で一部教科担任制を実施
②体力向上（きたえる子） ・授業力の向上 ・外遊びの奨励
③豊かな心（思いやりのある子） ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の推進 ・規律ある態度の育成 ・特別活動の充実
(3) 成果
○青柳小授業スタンダードの活用により、学力の向上を図ることができた。 ○幼保小中を一貫した教育を実施することで、新1年生も落ち着いて生活することができた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 14 学級 校長 岩淵 健志
児童数 399人 教頭 佐々木 紀剛



＜教育目標＞
進んで学ぶ子 思いやりのある子 体をきたえる子 ねばり強い子
＜研究主題＞
自己の生き方についての考えを深め よりよく生きようとする 児童の育成 ～「考え、議論する」道徳科の授業をとおして～
＜重点教科等＞
特別の教科 道徳
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ 「笑顔いっぱい」の夢ふくらむ学校 ～地域と共にある学校づくり～
(2) 取組内容
①進んで学ぶ子 ・授業5か条の定着 ・授業の約束の指導徹底 ・腰立タイムの活用
・草加っ子の基礎・基本の定着 ・ICTを活用した授業づくり ・はなまる学習コーナーの充実
②思いやりのある子 ・道徳教育のさらなる充実 ・言語指導の充実
・いじめ防止基本方針の推進 ・ハートの日の活用
③体をきたえる子 ・走力、跳力の向上 ・早寝早起き朝ごはんの励行 ・学校保健、食育指導の充実
・運動量豊富な体育授業の実践 ・なわとび運動の継続的な取組 ・運動の習慣化と外遊びの励行
④ねばり強い子 ・5つの「します」の徹底 ・勇気づけ、見届けの徹底
・日常的な成功体験の推進 ・児童理解と個に応じた支援
(3) 成果
○わかる授業の実践により、基礎学力の定着が図られている。 ○昨年度、埼玉県道徳教育研究推進モデル校としての研究発表を行い、自分の考えを自分の言葉で伝えられる児童が増えた。 ○地域・家庭・学校が一体となった教育活動を実施している。

両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 16学級 校長 上野 雅祥
 児童数 419人 教頭 高橋 康子



＜学校教育目標＞
 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
 ＜研究主題＞
 問題に主体的にアプローチできる児童の涵養
 ～生きて働く「知識及び技能」を習得させる授業の設け～
 ＜重点教科等＞ 算数科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) スローガン
 「学ぶ子われら 光る子われら 笑顔かがやけ 両新田小」
 (2) 取組内容
 ① 学習指導の充実
 ・算数科における基礎基本の定着を目指した授業改善
 ・授業規律の確立・ICT機器を有効活用した授業実践
 ② 幼保小中を一貫した教育の推進
 ・目指す子ども像の共有・実現・乗り入れ授業の充実
 ③ 安全・安心で開かれた学校づくり
 ・家庭・地域・関係機関との連携の充実・HPの有効活用
 ④ 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実
 ・積極的・組織的な生徒指導・教育相談の充実
 ・問題行動、いじめの未然防止、早期発見・早期対応
 ⑤ 豊かな心の育成
 ・道徳教育の充実、人権教育の充実、特別活動の充実
 ⑥ 健康でたくましい児童の育成
 ・体育科授業と体育的諸活動の工夫と充実 ・歯磨き指導の充実
 (3) 成果
 ・校内研修や教材研究の時間を確保したことにより、授業や自主学習に積極的に取り組む児童が増えた。また、市学調や県・全学調の結果に伸びが見られた。

松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日
 学級数 16学級 校長 中村 哲也
 児童数 386人 教頭 村田 隆一



＜教育目標＞
 心身ともに健康で、自ら学ぶ子
 ＜研究主題＞
 『主体的に学び、自身の学力に結びつける児童の育成』
 ～学習意欲を持たせ、確かな学力に結び付ける授業づくり～
 ＜重点教科等＞
 国語科、算数科を中心とした学力向上を重点とした研究
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 『やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子』
 (2) 取組内容
 ① 『読書活動の推進』
 ・読書ビンゴや読書スタンプラリーの実施。
 ② 『健やかな体づくり』
 ・コロナ感染症の中、規則正しい生活習慣の確立。
 ③ 『松原小の基礎・基本の徹底』
 ・朝活動での、国語・算数の基礎・基本の定着の推進。
 ・読書を活用した語彙力の向上。
 ④ 『季節と心情あふれる全校児童による俳句づくり』
 ・俳句に親しみ、心豊かに育むための俳句作りの継続。
 ⑤ 『幼保小中を一貫した教育の推進』
 ・「スタートカリキュラムの共有」「幼保小中一貫だよりの発行」
 (3) 成果
 ○一人あたりの本の貸し出し数の増加が見られた。
 ○栄小学校、栄中学校、さらには幼稚園、保育園とも情報交換を行うなど幼保小中を一貫した教育を継続して進めることができた。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和3年5月1日現在)

学校紹介の内容

＜教育目標＞
＜研究主題＞
＜重点教科等＞
＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 23 学級 校長 中村 常雄
生徒数 794人 教頭 佐藤 勝
森 寿義



＜教育目標＞
目標を持ち努力する生徒
＜研究主題＞
・指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育む
＜重点教科等＞
全教科・全領域
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) 生徒の目指す学校（スローガン）「あ・か・つ・き」の実践
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を きり開く（向上）
(2) 取組内容
①「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導
②「いまをたくましく生きる」ための生徒指導
③幼保小中を一貫した教育の推進
④地域とともにある学校づくりの推進
⑤「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実
⑥多面的・多角的に考える生徒を育む道徳教育の推進
⑦ノーマライゼーションの視点を持つ特別支援教育の充実
⑧「いまをたくましく生きる」ための進路指導の推進
(3) 成果
○生徒一人ひとりが向上心を持ち共に協力し合う学校が醸成されている。
○基礎基本の定着・部活動の活躍など文武両道を実践している。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 17 学級 校長 今泉 正之
生徒数 527人 教頭 朝比奈 智



＜教育目標＞ 自ら学び考え行動する生徒（知）
豊かな心を持ち思いやりのある生徒（徳）
健康でたくましい生徒（体）
＜研究主題＞
自己肯定感・自己有用感をはぐくむ授業の創造
～栄中学校区幼保小中を一貫した教育・
教育コミュニティづくり～
＜重点教科等＞
全教科、全領域
＜特色ある学校づくりへの取組＞
「いいところ探しの学校」
(1) キャッチフレーズ
【さ】爽やかなあいさつ 【か】輝く笑顔 【え】英気あふれる
(2) 取組内容
①各教科の基礎・基本の定着及び確かな学力の向上
・補充学習 ・言語活動の充実 ・ICT機器の活用
・主体的・対話的で深い学びの確立に向けた授業改善
②生徒指導の充実
・あいさつ ・言葉づかい ・規範意識 ・授業態度
③学校行事の充実
・目標の明確化 ・体験活動の推進 ・ボランティア活動
④環境教育の充実
・清掃活動 ・緑化活動 ・リサイクル活動 ・さかえ農園
⑤豊かな心の育成
・いじめ、暴力の根絶 ・人権、命の尊重 ・道徳教育
(3) 成果
○幼保小中を一貫した教育の推進により、「学力向上プラン」の質が高まり、各種調査結果に向上が見られた。
○ボランティア活動に積極的に参加することで、学校・家庭・地域との協働が推進された。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 21 学級 校長 本間 錦一
生徒数 652人 教頭 市村 耕治



＜教育目標＞
学び合う生徒（知）思いやる生徒（徳）高め合う生徒（体）
＜研究主題＞
生徒の主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業づくり
～生徒一人一人の自己肯定感、有用感の育成に向けて～
＜重点教科等＞ 全教科・全領域
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ（学校経営方針）
「生徒、教職員、保護者、地域が誇りに思う谷塚中学校」
努力が喜びとなる学校 安心、安全で規律のある学校
信頼されるよき校風のある学校
(2) 取組内容
①「わかる授業」による確かな学力の育成
・数学（1年）、英語（1年）のTT指導の充実
・授業力向上を中心とした研修の充実
・家庭学習ノート等を活用した学習習慣の確立
・校区学校間の授業規律の統一及び小中を一貫したカリキュラムの導入
②学校間連携を図ったキャリア教育の充実
・谷塚小、氷川小、草加南高校との連携、交流
③地域社会との交流を通じた豊かな心の育成
・地域、保護者の人材を生かした教育活動
・部活動指導の充実
・地域行事の積極的な参加
・あいさつ運動、学校公開等の実施
(3) 成果
○地域や学校間の連携等や交流活動により、生徒会活動の充実、さわやかなあいさつ、授業規律の定着、授業への積極的な参加、話し合い活動の充実、家庭学習の充実が図られた。部活動の積極的な参加が促され、大会・コンクール等でよい成果を上げることができた。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 15 学級 校長 車 浩
 生徒数 450人 教頭 江口 和彦



- <教育目標>
 賢く 優しく 逞しく
 <研究主題>
 「力強く未来を切り拓く生徒の育成」
 ～学校組織全体で進める授業づくりを目指して～
 <重点教科等> 全教科・全領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 『自ら学び、心豊かで、逞しく生きる生徒と、それを支える
 教育愛に満ちた教職員が集う、保護者・地域とともにある学
 校』
 (2) 取組内容
 ①「主体的、対話的で深い学び」の視点での授業改善と学習
 習慣の確立による学力の向上
 ・「授業の5か条」「学びの5か条」を基にして、学校組
 織全体で授業改善を図る。
 ・読書活動を通じて「知」を育てる。学校図書館で年間6
 冊以上借りる生徒の割合90%以上を目指す。
 ②生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成
 ・全教職員の共通理解に基づいた校内生徒指導体制を確立
 し、校内規律・授業規律（授業規律の5原則）を徹底し
 生徒の望ましい生活習慣を育成する。
 ③幼保小中を一貫した教育の推進
 ・幼保小中連絡協議会を組織し、目指す子ども像、幼保小
 中15年間を通した教育課程を編成する。
 (3) 成果
 ○全校生徒が落ち着いた学校生活を送っている。
 ○アンケート等で、『授業はわかりやすく、楽しい』と答
 える生徒が90%を超えている。
 ○学校生活全般にわたる「自己肯定感の向上」を目指した
 取り組みが主体的な活動姿勢につながっている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 21 学級 校長 大野 正浩
 生徒数 651人 教頭 土谷 守人



- <教育目標>
 自ら学ぶ生徒 ～意欲的な学習・学力向上・進路実現～
 思いやりのある生徒 ～人の気持ちがわかる生徒～
 健康でたくましい生徒 ～規則正しい生活と心身の健康～
 正しい行動のできる生徒 ～規律を守り行動に責任を持つ～
 <研究主題>
 学力向上と主体的に学びに向かう力の育成
 <重点教科等>
 全教科・全領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「A・K・Bの新栄中」（あいさつ・活力・勉強の新栄中）
 (2) 取組内容 ～よりよく生きる力の育成
 ①朝読書 基礎基本を重視した授業、基礎学力テスト
 授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
 ②PTAと連携した朝のあいさつ運動
 環境教育（綾瀬川ビオトープ保護活動、野鳥観察会）
 ③基礎体力づくり 種目選択体育授業・活発な部活動
 ④社会性・スキル教育 体験型学習
 ⑤中高の連携ーリトルティーチャーによる書写・理科等の教
 科での草加西高等学校との交流
 ⑥幼保小中を一貫した教育の推進（乗り入れ授業の実施、合
 同研修会、幼保小中地域連絡協議会）
 (3) 成果
 ○朝読書や授業を通して基礎基本の定着及び学力の向上が図
 れた。今年度も引き続き「読書活動の充実」を目指す。
 ○環境教育やスキル教育の実践により、豊かな心や社会性が
 着実に身に付いてきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 21 学級 校長 飯島 隆
 生徒数 697人 教頭 神田 研二郎



- <教育目標>
 自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」
 「ま」・・・学び続ける生徒
 「つ」・・・強い体をもつ生徒
 「な」・・・仲間を思いやる優しい心をもつ生徒
 「み」・・・みんな仲良く笑顔あふれる生徒
 「き」・・・希望をもち夢に向かって努力する生徒
 <研究主題>
 ○確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成
 ～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して～
 <重点教科等> 全教科・全領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) ①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃 ④活力ある部活動
 ⑤一人ひとりのよさ・違いを認め合う学校
 (2) 主な内容
 ①幼保小中を一貫した教育に係る交流の推進、小中乗り入れ授業による体育授業
 交流、他授業見学等
 ②生活習慣の定着
 【授業の5原則】・授業の用意をして待つ・チャイム着席・あいさつしつかり
 ・忘れ物をしない・むだ話をしない
 ③基礎学力、学習態度の定着
 ・一人ひとりの学力の伸びの状況把握・一人ひとりに活躍の場面、出番をつくる
 ・日々の規律と授業を一番大切にする・ワークシート・小テスト等の内容の工夫等
 ・少人数、T-T、学習補助員、学習形態の工夫
 ④教育環境の整備
 ・あいさつ運動（生徒・職員・保護者での愛の一声運動）、ボランティア活動
 （高齢者運動会）、瀬中宣言にもとづく生徒会と専門委員会活動、放課後の無
 言清掃
 (3) 成果
 ○昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの学校行事や地域
 の方々とのふれあいをすることができなかったが、感染症予防対策や朝の健康観
 察・消毒活動、清掃活動を工夫など生徒と教員が一体となって取り組んできたこと
 で、優しさと思いやりある心を養う態度が育ってきている。それらの経験が感染防
 止対策を考慮した行事運営に結び付けることができた。そして生徒自ら知恵をしぼ
 り自ら努力したことを学校や地域によりよい役立てていこうとする力が育ってきて
 いる。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 13 学級 校長 山根 明
 生徒数 356人 教頭 小野 陽子



- <教育目標>
 「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる」
 学力を伸ばす生徒（知）
 豊かな心を育てる生徒（徳）
 心身共に健康な生徒（体）
 <研究主題>
 「言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に
 取り組む授業、諸活動」
 ・わかる授業の推進と基礎学力の定着
 ・課題解決能力をもった生徒の育成
 ・豊かな心を育む道徳の時間の充実
 <重点教科等> 全教科・全領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「夢 ふれあい 感動のある学校 花栗中学校」
 ～ 地域と共にある学校づくり ～
 (2) 取組内容 幼保小中を一貫した教育の推進
 ①学習指導の充実
 ・言語活動の充実と課題解決能力の育成
 ・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取組
 ②生徒指導・教育相談の充実
 ・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進
 ・メンタルヘルス研究推進校（R3～R5）
 ③豊かな心を育む教育の推進
 ・生きる力4カ条の実践・道徳教育の充実・読書活動の充実
 (3) 成果
 ○多くの体験活動や地域との触れ合いを通して、生徒は心豊かに
 活動し、授業にも主体的に取り組んでいる。

両新田中学校

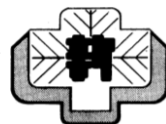
創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16 学級 校長 及川 祐一
 生徒数 474人 教頭 綿貫 稔



＜教育目標＞
 【自ら学び 心豊かに たくましく】
 自ら学び(知)～自分の考えをもつ 正しく判断し行動する 目標をもち努力する
 心豊かに(徳)～互いのよさや努力を認め合う 態度や行動に示し主体的な実践をする
 たくましく(体)～困難を克服する力や健やかな体の育成 規律正しい生活習慣を確立する
 ＜研究主題＞
 【生徒一人ひとりを大切に、夢と絆を育む学校】
 ・学ぶ楽しさを味わわせる授業実践《わかる授業の実践》
 ・道徳教育の推進《考え議論する道徳の推進》
 ・自己肯定感を育てる指導の充実《褒める 認める声かけ等の積極的な生徒指導》
 ・いじめのない学校《あいさつ運動の励行 生徒への温かな言葉かけ》
 ・幼保小中を一貫した教育の推進《15年間を見通した教育課程の編成と実践》
 ＜重点教科等＞
 全教科・全領域
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 【生徒一人ひとりを大切に教育と家庭・地域に信頼される両新田中】
 (2) 取組内容
 ・一人ひとりに基礎基本を身に付る～生徒理解に基づく指導と評価の実践
 ・一人ひとりのよさ 可能性を引き出す～内在するものを引き出す教育力
 ・一人ひとりの命と健康を守る～共助の学びと絆づくり、安全な学校
 (3) 成果
 ・昨年度実施した保護者の学校評価の「生徒一人ひとりを大切に育てる」の項目では、達成状況が約90%と高い評価を得ることができた。また、生徒に実施したアンケートでは「授業は楽しく、分かりやすかった」と答えた生徒は約80%であった。今年度も継続して教職員の授業力の向上を図り、生徒に基礎基本を定着させていく。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 17 学級 校長 小林 和広
 生徒数 495人 教頭 橋本 哲



＜教育目標＞
 豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒
 ＜研究主題＞
 探求心・共生心・自立心を育む幼保小中一貫教育の実践
 ～主体的・対話的で深い学びの実現/社会に開かれた教育課程の実現～
 ＜重点教科等＞
 全教科・全領域
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) めざす学校像
 大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
 (2) 取組内容
 1、学ぶ意欲が向上する学校
 ◎主体的・対話的で深い学びの追求
 ◎基礎基本の習得と活用
 ◎一人ひとりのフォローアップの充実
 2、豊かな心が育成する学校
 ◎美しい教育環境が整った学校を教職員と生徒で創造
 ◎読書活動の充実 ◎特別活動の充実
 ◎特別の教科 道徳の授業の充実
 3、新進が健康でたくましい生徒を育成する学校
 ◎保健体育・性教育・安全教育・防災教育の推進
 ◎生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実
 ◎不登校の減少の取組 ◎体育授業、部活動での体力向上
 4、中学校区の幼保小中が連携した学校
 ◎幼保小中を一貫した教育下の「草加っ子夢プラン」研究の推進
 ◎ベアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動
 ◎幼保小中一貫した授業研究の実施
 ◎地域懇談会・学校協議委員会の充実した運営
 (3) 成果
 ○様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心がいっそう育まれてきている。また、生徒一人ひとりが事故存在感・自己有用感を感じてきている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
 学級数 16 学級 校長 笠井 誠司
 生徒数 496人 教頭 北井 宏征



＜教育目標＞
 ○自ら考え実践する生徒(知)
 ○心豊かで思いやりのある生徒(徳)
 ○健康でたくましい生徒(体)
 ＜研究主題＞
 学ぶ喜びを味わわせる授業の創造
 ～学級校経営を基盤として～
 ＜重点教科等＞
 特別活動・生徒指導・教育相談の充
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」
 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒
 (2) 取組内容
 ①自ら考え実践する生徒を育成する授業改善
 ・主体的・対話的で深い学びの追求
 ②心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実
 ・生徒会活動・学校行事の充実
 ③健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進
 ・生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
 ④幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 ・小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
 ⑤地域とともにある学校づくりの推進
 ・学校運営協議会を中心としたコミュニースクールの実施
 (3) 成果
 ①基礎基本が定着したことにより、深い学びにつなげることができた。
 ②行動規範が身につく、コミュニケーションを良好に保つことができた。
 ③部活動に積極的に参加することで心身の健全な発達を図られた。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
 学級数 14 学級 校長 遠藤 淳一
 生徒数 421人 教頭 高安 健次



＜教育目標＞
 ま：学ぶ意欲のある生徒 < かしこさ >
 つ：強い心と体をもつ生徒 < たくましさ >
 え：笑顔あふれる生徒 < あたたかさ >
 ＜研究主題＞
 自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
 ～各教科の指導と評価の一体化を通して～
 ＜重点教科等＞
 全教科・全領域
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 子どもが誇りのもてる学校に ～『松中プライド』の育成を～
 (2) 取組内容
 ①生徒へ達成感と充実感
 ・教師一人ひとりの授業力の向上
 ・集団活動を通じた豊かな人間性の育成
 ②子どもの居場所づくり
 ・共感的な人間関係の育成
 ・教育環境の整備
 ③「幼保小中を一貫した教育」の推進
 ・幼保小中一貫教育の推進と小中教科指導と評価の一体化の研究。
 ・小中合同研修会の実施
 (3) 成果
 ○保護者・地域の方々の協力と理解を得て、教職員が丸と
 なって「子どもが誇りのもてる学校」創りを推進している。
 ○生徒個々に知・徳・体のバランスのとれた基礎力を身につける教育を充実させている。

Ⅲ 生涯學習

学びの成果が発揮される生涯学習の推進

1 生涯を通した多様な学習機会の充実

(1) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、草加市教育振興基本計画の進捗状況の検証、生涯学習が直面する諸問題について協議し、草加市としてふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(2) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、講座や教室への参加申し込み、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能を持ち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(3) 指導者バンクの活用

生涯学習の各分野において専門的な知識や経験、技能等のある人を生涯学習指導者として発掘、登録し、その情報の提供及び活用を図ります。

指導者バンク制度の周知及び指導者の活動の場を広げるために、生涯学習体験講座を開催します。

指導者バンク

年度	登録者数	体験講座数
H30	83 人	38 回
R1	84 人	45 回
R2	89 人	22 回

(4) 生涯学習情報紙等の発行

市民への生涯学習情報発信のため、生涯学習情報紙『マイ・ステージ』を毎年度発行するとともに、市内で活動しているサークルの情報をまとめたガイドブックを隔年度で発行します。

(5) そうか市民大学の充実

建学の精神「学びを通してのきずな形成」のもと、「自分をつくる・人と出会う・まちをつくる」ことを目的とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

(6) 大学公開講座への支援

獨協大学オープンカレッジ及び上野学園大学短期大学部の公開講座を支援します。

(7) 社会教育関係団体の育成

生涯学習の分野ごとに活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
H30	420 団体
R1	407 団体
R2	392 団体

(8) 新成人のつどいの開催

社会を担う成人としての自覚と自立を促すとともに、ふるさと意識を高め、地域貢献の心を育む機会として、新成人のつどいを開催します。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とし、無観客で式典の様子をライブ配信しました。

(9) 子ども大学そうかの開校

子どもの学ぶ力や生きる力を育み、地域で子どもを育てる仕組みをつくるため、獨協大学との共催により開校します。身近なテーマについて、大学教授や専門家が楽しく、分かりやすく講義します。

(10) 平成塾の管理運営

地域の高年者のふれあいや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援しました。

なお、令和3年6月に開催を予定していた、第24回平成塾合同発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

(11) 栄小学校一般開放施設の管理

栄小学校一般開放施設について、施設の適正な維持・管理を図ります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月28日から6月30日までは利用時間を午後8時までとし、かつ一部の利用を制限しました。

2 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

市内公民館・文化センターについて、施設の適正な管理・維持を図るとともに、事業の充実に努めます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月1日から4月27日までは利用時間を午後9時まで、4月28日から6月30日までは利用時間を午後8時までとし、かつ一部の利用を制限しました。

さらに、令和3年度の各公民館・文化センターまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

1 文化財の保存・活用

貴重な文化遺産を郷土の文化財として保存・活用するために、指定文化財のパトロールや資料の整理、埋蔵文化財包蔵地の管理を行います。

また、市内小学校1年生への『草加お宝かるた』の配付や、小・中学校で『「草加を学ぶ」教育』として「草加松原」や「おくのほそ道」を取り上げた授業が行われるよう、「草加松原」を題材にした資料を作成し、子どもたちの郷土に対する愛着と誇りの醸成を図ります。

2 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

3 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画』に基づき、末永く草加松原の景観の保存活用が図られるよう体制整備に努めます。

また、保存活用を図るために策定した『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画』に基づき、草加松原のもつ本質的価値を損なわないよう努めます。

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月

(昭和56年10月移転)

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：925-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 6,220.10m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

令和3年度主要事業：伝統文化教室、土曜事業、子ども体験教室、にじいろタイム、文学講座、SKT高年者健康リズム体操、チャレンジ！シニア講座、青少年コンサート、ムーンライトコンサート ほか

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月

(平成14年9月移転)

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	—

令和3年度主要事業：県民の日柿木なんでも知って見隊ジュニア、子ども自遊空間、子ども文化講座、子ども体験講座、自然観察教室、親子で元気ルーム、高年者の元気ルーム、成人文化講座、柿木の芸術家たち展、はつらつ元気健康体操教室 ほか

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月

(平成19年4月移転)

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330m²

敷地面積 18,756m²

(敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む)

令和3年度主要事業：少年少女発明教室、星空観察教室、県民の日体験事業、すくすくクラブ、大人の体験講座、高年者学級「コスモス」、はつらつ元気体操教室、シニアチャレンジ、歌声のつどい ほか

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	託児室	—

(家庭科室、図書室は小学校との共用施設)

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

FAX番号：930-1509

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,301m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	—
会議室	50		
実習室	30	託児室	—

令和3年度主要事業：子ども収穫体験講

座、半世紀交流会、成人体験講座、公民館ボランティア講座、伝統食の講座、川柳講座「ぬくとぼこ」、はつらつ元気体操教室、音楽と文化のまちづくり教室、川柳音楽会 ほか

〔新田西文化センター〕

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門三丁目49番地1

電話番号：942-0778

FAX番号：946-1508

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,225.48m²

敷地面積 2,136.79m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	—
第3会議室	54	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和3年度主要事業：子どもサマーランド、放課後クラブ、県民の日体験事業、謎解きゲーム、家庭教育学級、高年者学級「笑いのつどい」、高年者のびのびサロン ほか

〔新里文化センター〕

開館年月：平成26年4月

所在地：草加市新里町983番地

電話番号：927-3362

FAX番号：920-1504

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,373.48m²

敷地面積 2,373.38m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書・学習室	—
第3会議室	40	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和3年度主要事業：教養文化講座、のびのび広場、すくすくクラブ、高年者学級、はつらつ元気体操教室 ほか

○博物館類似施設

〔歴史民俗資料館〕

開館年月：昭和５８年１１月

所在地：草加市住吉一丁目１１番２９号

電話番号：９２２－０４０２

FAX番号：９２２－１１１７

構造・面積：鉄筋コンクリート造２階建

延床面積 696m²

敷地面積 766.18m²

資料収蔵数 3,014点（令和２年度末）

来館者数の推移

年度	人 数
H30	15,225 人
R 1	13,047 人
R 2	6,851 人

令和３年度企画展示：「端午の節句展」、「きて、みて、感じて 草加の歴史-遺跡から見る草加-」、「火消の歴史-草加八潮消防局へのあゆみ-」、「桃の節句展」

令和３年度子ども向け体験事業：「七夕かざり」、「土器を調べる」、「竹風車・竹水鉄砲」、「藍染め」、「昔の道具」、「まが玉作り」、「和風作り」、「昔遊び」、「ひなかざり」

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管、調査・研究、展示・公開することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和５８年１１月に開館しました。

建物は、大正１５年（１９２６年）に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッジボールなどをして遊べるスペースが設けられるなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。平成２０年１０月には、「造形の規範となっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録となりました。

令和元年１１月１３日には来館者３０万人を達成し、令和２年度末現在は、累計来館者数が３１万２，５９７人となりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和２年３月４日から令和２年６月１５日まで臨時休館となりました。

草加市立中央図書館

開館年月：平成12年4月1日

所在地：草加市松原一丁目1番9号

電話番号：946-3000

FAX番号：944-3800

構造・面積：鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建

専有面積 4,803.54 m²

【令和3年度 図書館運営方針】

中央図書館では、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもと本が会える機会を増やすとともに、草加市子ども読書活動推進計画や誰もが使いやすい読書環境の整備を積極的に推進します。

また、図書館が持つ機能のまちづくりへの活用や「新しい生活様式」への対応など市民ニーズや社会環境の変化に合わせた図書館サービスの検証や見直し等、新たな図書館の在り方についての検討を進めます。

【令和3年度 実施内容】

令和3年度図書館運営方針を踏まえ、次のとおり図書館を運営してまいります。

- 1 ユニバーサルデザインに配慮した電子図書館の充実や児童書に重点を置いた魅力ある蔵書を整備するとともに、公民館図書室等とのネットワークの活用により、図書資料等を効果的・効率的に提供します。
- 2 郷土資料の充実、草加にゆかりのある資料の収集、人権及び平和に関する資料の充実を図ります。
- 3 市民の生活課題の解決や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンスサービスの利用を促進し、調べ物に役立つ図書資料等をわかりやすく紹介するパスファインダーやレファレンス事例等の情報を発信します。
- 4 いつでもどこからでも利用可能な電子図書館の充実を図り、視覚障がい者等に音声読み上げや文字拡大機能付きの電子書籍を提供するとともに図書館に来館が難しい方の利用促進を図ります。
- 5 学校及び読書に携わる市民や団体と連携して子ども読書活動推進に資する取組を行います。
- 6 子どもと保護者を対象としたアンケート調査を実施し、子ども読書活動推進計画の成果指標の中間確認を行うとともに次期計画策定の基礎資料として取りまとめます。
- 7 主催事業や行政情報等をより分かりやすく案内するため、デジタルサイネージ（広告付電子案内板）を導入します。
- 8 安全かつ快適な利用環境を提供するため、排煙窓の修繕に係る調査及びエレベーター巻上機の綱車、調速機ロープ等の交換修繕を行います。

【令和２年度利用状況】

１ 入館者数・登録者数

(単位：人)

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
243	148,532	24,920	173,452	162,219	24,935	11,838	198,992

※ 空調設備等改修工事に伴う臨時休館

・令和２年４月１日から５月３１日まで

※ 空調設備等改修工事後のリニューアルオープンに向けた準備に伴う臨時休館

・令和２年７月２７日から８月３日まで

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設の利用制限及び予約を受けた資料の貸出・返却の実施

・令和３年１月４日から３月２１日まで

２ 場所別・資料種別蔵書数

(単位：点)

区分	図書			雑誌	ＡＶ資料					電子書籍	合計
	一般書	児童書	小計		ＣＤ	カセット	VHS	DVD	小計		
中央図書館	379,604	77,329	456,933	14,029	9,470	4	98	2,031	11,603	—	482,565
公民館・文化センター	18,831	20,113	38,944	177	—	—	—	—	—	—	39,121
地域開放型図書室・サービスコーナー	14,155	64,508	78,663	—	—	—	—	—	—	—	78,663
草加市電子図書館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,334	2,334
合 計	412,590	161,950	574,540	14,206	9,470	4	98	2,031	11,603	2,334	602,683

３ 貸出数

(単位：点)

中央図書館					公民館・文化センター	地域開放型図書室	サービスコーナー	草加市電子図書館(電子書籍)	合計
一般書	児童書	雑誌	ＡＶ資料	計					
236,546	102,671	13,030	12,691	364,938	89,496	8,158	117,029	16,469	596,090

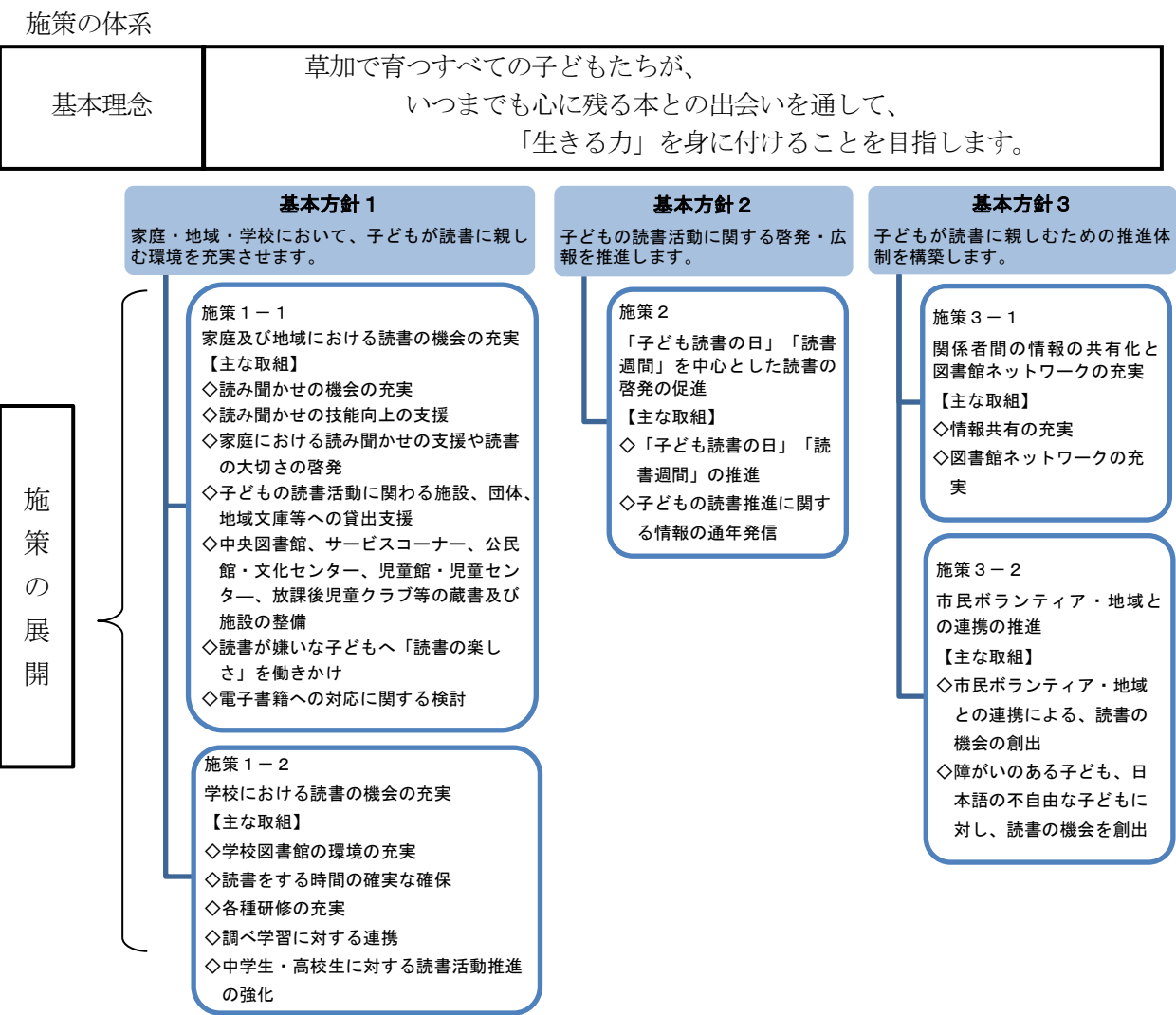
４ 館内設備等利用状況

(単位：件)

区分	指定席	高年者席	持込み端末利用席(Wi-Fi 席)	拡大読書器利用席	インターネット用パソコン利用席	予約		リクエスト
						図書・雑誌 ＡＶ資料	電子書籍	
利用件数	4,311	104	2,403	3	854	154,208	7,179	7,086

草加市の子ども読書活動推進計画（平成30年度～令和5年度）の概要について

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要です。草加市では、各主体が個別に事業を進めるのではなく、子どもの読書活動に関する施策を体系化し、総合的かつ計画的に推進するため、当該計画を策定しました。



目標とする指標		(H29)	(R5)
① 読書が「好き」「どちらかと言えば好き」の回答率	子ども：82%	→	90%
	保護者：38%	→	41%
② 1か月に読む本が「0冊」の回答率（不読率）	子ども：15%	→	10%
	保護者：43%	→	33%
③ 「読んでよかった本がある」の回答率	子ども：63%	→	70%

【令和2年度実施事業『ビブリオバトル・草加の陣』の概要】

1 目 的

市内の小学生・中学生の参加により、感動した本や素晴らしいと実感した本を互いに薦め合い、読書の楽しさを啓発し合うビブリオバトルを実施し、子どもたちの発表力を高め合いながら読書活動の推進を図りました。

2 主 催

図書館・文化を見守る会、草加市立中央図書館

3 開 催 日 時

令和3年1月28日(木) 午後3時30分から午後4時30分まで
(撮影期間：令和2年12月10日から令和3年1月15日まで)

4 対 象

- (1) 小 学 校 中 学 年 の 部：小学校3・4年生を対象
- (2) 小学校高学年・中学生の部：小学校5・6年生及び中学生を対象

5 発 表 者

令和2年度の草加っ子生き生きプラン「読書活動推進プラン」研究委嘱校
花栗南小、小山小、花栗中、新里小、両新田小、両新田中 計6校の児童・生徒10人

6 実 施 方 法

コロナ禍のため、中央図書館に一同に会して実施するイベント形式から変更し、出場6校の児童・生徒10人の発表を事前撮影し、中央図書館が編集した映像を、指導課主催の「草加市子ども読書活動推進研修会」に参加する教員が事前に視聴及び「一番読みたくなった本」に投票した上で、研修会当日にチャンプ本を決定しました。

7 チャンプ本

発表終了後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準として、出場校以外の小中学校教員（各校1票）が投票し、最も多く票を集めたものを「チャンプ本」としました。

(1) 小学校中学年の部

書 籍：黒魔女さんが通る！！Part1 ーチョコ、デビューするの巻ー
著 者：(作) 石崎 洋司 (絵) 藤田 香
出版社：株式会社講談社

(2) 小学校高学年・中学生の部

書 籍：きまぐれロボット
著 者：(作) 星 新一 (絵) 和田 誠
出版社：株式会社理論社

IV 人 權 教 育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体を通しての人権教育の取組

- ① 人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。
- ② 人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。
- ③ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科はもとより道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。
- ④ 豊かな人権感覚を身に付けるとともに、自他の大切さを認め、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体を通して一人ひとりを大切にする指導の在り方についての研究を推進しています。
- ⑤ いじめや仲間はずれのない、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

- ① 人権教育主任研修会
- ② 人権教育授業研究会
- ③ 初任者教員人権教育研修会
- ④ 3年次教員人権教育研修会
- ⑤ 5年次教員人権教育研修会
- ⑥ キャリア・アップ研修会
- ⑦ 臨時的任用教員・任期付教員研修会
- ⑧ 学校管理職人権教育研修会
- ⑨ 人権教育校内研修会
- ⑩ 人権を考える市民のつどい
- ⑪ 草加市人権文集『なかま』の発行
- ⑫ 草加市人権標語ポスターの作成
- ⑬ 現地研修会の開催

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題を始めとする様々な人権課題に対して、総合的かつ計画的な人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供しています。学習方法についても、人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をしています。

(2) 人権教育講演会、研修会の開催

講演会・研修会等を開催し、また、草加市人権教育推進協議会を始めとした団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進を図るよう努めています。

- ① 人権を考える市民のつどい
- ② 企業内人権・同和問題研修会
- ③ 現地研修会の開催 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題を始めとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に供するために設置された施設です。その運営については、地域の関係団体・機関から選出された運営委員会を中心に行っています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月1日から4月27日までは利用時間を午後9時まで、4月28日から6月30日までは利用時間を午後8時までとし、かつ一部の利用を制限しました。

① 子ども教室、女性教室、成人教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めています。なお、令和3年度の成人教室については、講師等との協議の結果新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

② 吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表のほか、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めています。なお、令和3年3月に開催を予定していた吉町集会所まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

③ 埼玉県教育集会所文化交流会（みなくるフェスタ）への参加

埼玉県教育集会所連絡協議会主催による埼玉県教育集会所文化交流会（みなくるフェスタ）に、吉町集会所利用団体が参加し、県内集会所及び隣保館利用団体との交流を図ります。なお、令和3年3月に開催を予定していた交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月：昭和58年4月

所 在 地：草加市吉町三丁目9番24号

構造・面積：鉄骨造2階建 延床面積281.51㎡ 敷地面積578.63㎡

V 資 料 編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年度	月 日	主 な こ と が ら
昭和 6 1	4 月 1 日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に改編
	6 月 7 日	奥日光自然の家を開設
	8 月	川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	1 0 月 1 日	(財)草加市体育協会が設立
	2 月 2 0 日	遊馬町個人所蔵の文明十七年弥陀一尊図像月待板碑を市指定文化財に指定
6 2	7 月 3 1 日	青少年健全育成市民会議が発足
	8 月 1 日	語学指導助手を初めて採用
	8 月 2 5 日	高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱北勝海関が参加
6 3	8 月 2 1 日	新栄中学校第 1 8 回全国中学校バスケットボール大会で優勝
	8 月 2 2 日	花栗中学校第 1 8 回全日本中学校バレーボール選手権大会で優勝
	1 0 月 1 5 日	草加市民管弦楽団が発足
	1 1 月 1 日	新草加市民憲章・草加市歌を制定
	1 1 月 5 日	第 1 回奥の細道国際シンポジウムを開催
	1 1 月 1 3 日	中日友好バレーボール親善試合を開催
平成 元	7 月 7 日	草加平成塾を開塾
	8 月 2 1 日	長栄小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱旭富士関が参加
	1 1 月 2 4 日	第 1 回国際ハーブ・フェスティバルを開催
2	7 月 2 日	栄平成塾を開塾
	8 月 2 5 日	高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱千代の富士関が参加
3	4 月 1 日	社会教育課を生涯学習課と改称
	8 月 2 4 日	清門小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	7 月 1 8 日	新田平成塾を開塾
4	8 月 2 9 日	西町小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱曙関が参加
	9 月～	学校週 5 日制（月 1 回）を実施
	9 月 2 4 日	両新田平成塾を開塾
5	6 月 2 2 日	音楽都市を宣言
	1 0 月 1 8 日	八幡北平成塾を開塾
6	8 月 2 3 日	小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	1 1 月 7 日	新栄平成塾を開塾
7	4 月～	学校週 5 日制（月 2 回）を実施
	8 月 2 2 日	稲荷小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
	1 1 月 3 0 日	瀬崎平成塾を開塾
8	8 月 2 4 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	1 1 月 2 6 日	小山平成塾を開塾
9	8 月 2 0 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	1 0 月 3 1 日	氷川平成塾を開塾
1 0	8 月 2 2 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	1 1 月 1 日	清門平成塾を開塾
	1 0 月 2 8 日	札場河岸公園内の甚左衛門堰を市指定文化財に指定
	3 月 1 日	青柳平成塾を開塾
	3 月 1 9 日	市指定文化財の甚左衛門堰が県指定文化財に指定
1 1	4 月 1 日	特色ある学校づくり推進事業を開始
	8 月	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	1 1 月 5 日	長栄平成塾を開塾

年度	月日	主 な こ と が ら
1 2	4月 1日 8月 20日 1 1月 15日 2月 26日	草加市立中央図書館が開館 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新里平成塾を開塾 教育相談室が氷川町から松江一丁目（現在地）に移転
1 3	4月 9日 8月 26日	草加市立中央図書館来館者100万人を達成 記念体育館で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
1 4	4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 5月 8日 8月 7日 8月 9月 1日	指導・青少年課を、指導課及び青少年課に改編 学校週5日制が完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に改編 子ども週末活動支援モデル事業を開始 学校教育部、生涯学習部を新設。併せて、青少年課を新設 新学習指導要領が全面实施 学校評議員制度市内全小中学校で開始 八幡平成塾を開塾 安陽市と国際教育交流協議書を締結 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 柿木公民館が新築移転、業務を開始
1 5	4月 26日 4月 8月 19日 9月 1日 9月 17日	冒険松原あそび場（プレーパーク）を開設 西町小学校新校舎で授業を開始 記念体育館で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 全小学校に中央図書館サービスコーナーを開設
1 6	4月 7月 10日 8月 1日 8月 24日 9月 1日～ 1 0月 29日 1 0月 1日 1 0月 6日 1 0月 24日～ 1 0月 27日 3月 3月 21日	川柳小学校新校舎で授業を開始 柳島スポーツ広場の開放を開始 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまるよくシステム）の運用を開始 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 東地総田遺跡第二次発掘調査を実施 草加未来人サポート審議会が発足 全小中学校でアルミ缶の回収を開始 記念体育館で「まごころ国体一相撲競技」を開催 草加市生涯スポーツ振興計画を策定 冒険松原あそび場（プレーパーク）のプレーリーダーハウス完成
1 7	4月 6月 12日 7月 8月 27日 9月 9月 1日 9月 3日 9月 29日 1 0月 28日	教育に関する3つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎・基本」を策定、実践開始 奥日光自然の家開設20周年式典を挙行 全校学力調査を実施 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施、撤去等安全対策に着手 全校校地内全面禁煙を実施 そうか市民大学を開校 草加一丁目北草加観音堂境内の正保二年草賀町銘板碑型線刻虚空蔵菩薩立像供養塔を市指定文化財に指定 草加中学校の体育館・給食棟が竣工

年度	月日	主 な こ と が ら
17	11月 11月13日 12月 1日	不審者による児童生徒被害の多発を踏まえ、安全安心の学校づくりに着手 綾瀬川出土の丸木舟の保存処理が完了し、歴史民俗資料館で展示を再開 獨協大学との連携により、同大学附属図書館の市民開放を開始
18	4月 4月 4月 4月 7月～ 7月26日 8月～ 8月27日 1月22日 3月15日	中学校学校選択制を導入 学校給食調理業務委託を中学校2校において実施 小学校22校区内にスクール・パトロールステーションを設置 草加中学校体育館の一般開放を開始 算数・数学学力向上プロジェクト「寺子屋事業」の開設 綾瀬川出土の丸木舟を市指定文化財に指定 草加宿開宿着手400年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団in草加、絵画展、俳句展等） 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付 谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式を挙る
19	4月 1日 4月 9日 4月24日 4月 4月 4月 8月 8月28日 9月 10月 1日 3月	草加市教育相談室を草加市教育支援室に改称 谷塚小学校新校舎で授業を開始・谷塚文化センター新庁舎で業務を開始 全国学力学習状況調査を実施 学校給食調理業務委託を新たに中学校2校で実施 AED（自動体外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置 市内6小学校区で放課後子ども教室を開設 奥日光自然の家の施設周辺に、野生動物対策のため電気柵を設置 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向けた統合協議会を設置 青少年の居場所として青少年交流センターを開設 財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会の設置
20	4月 1日 4月 1日 6月 8月20日 9月 10月23日 12月 3月 3月	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育総務部を新設。併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設、体育課を市長部局に移管 業務改善検討委員会の意向を受け、教育委員会内部統制チームを新設 小中学校の耐震化計画を見直し、平成25年度100%実施に向けた計画を策定 市制50周年記念事業「子ども議会」を開催 「草加っ子土曜寺子屋」の新設 歴史民俗資料館が草加市初の国の登録有形文化財に登録 教育委員会事務及び評価報告書を市議会12月定例会に提出 松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校 教育委員会発足50周年記念誌「草加の教育 50年の歩み」を発行
21	4月 4月 4月16日 7月 7月 8月 9月 6日	松原小学校が旧花栗小学校で開校 高砂小学校新校舎で授業を開始 市内小中学校の耐震診断結果を公表 新型インフルエンザが猛威を振るい、7月下旬から3月上旬までに小学生5,490人、中学生1,959人が罹患 瀬崎冒険あそび場（プレーパーク）を開設 新田小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 高砂小学校で地域開放型図書館を開設

年度	月日	主 な こ と が ら
21	10月 11月12日 3月 3月31日	高砂小学校が、草加市と都市山村交流（平成22年7月に姉妹都市締結）の福島県昭和村への修学旅行を実施。以来、平成22、24、25、26年度にも実施 新型インフルエンザの影響で、小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止 国の経済危機対策等の補助金を活用して、小学校に校務用及び教育用コンピュータを整備 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館
22	4月1日 8月28日 11月 11月11日 3月 3月11日	新田西文化センターが開館 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加 草加市文化財保護基本計画を策定 草加市立中央図書館開館10周年記念として、「中央図書館文化講演会」を開催 松原小学校新校舎が完成 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生 児童・生徒の一斉下校対応・引き取り対応を実施 各小中学校、公民館・文化センターに避難所を開設 食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して実施
23	4月8日 6月8日 8月28日 9月 11月～ 12月26日 2月 3月	松原小学校新校舎で授業を開始 学校における放射線量等の測定を開始 松原小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 旧松原小学校（旧花栗小学校）において、県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 住吉二丁目所在の明治天皇草加行在所記念碑を市指定文化財に指定 草加市立中央図書館開館10周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定
24	4月1日 4月1日 6月1日 8月 8月20・21日 8月25日 9月 3月	学校教育課及び学校施設・給食課を、学務課、指導課及び施設課に改編、子ども教育連携推進室を新設 学校適応指導教室「ふれあい教室分室」を川柳文化センター・谷塚文化センター内に開設（平成25年3月31日閉室） 草加市立中央図書館で雑誌広告事業を開始 「いじめ防止」のためのリーフレットを作成 栄中学校全国中学校体育大会の体操競技団体で3位入賞 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加、主催の草加市青少年相撲振興会創立30周年を記念し、土俵入りを披露 栄小学校校舎改築工事に着手 草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
25	4月1日 6月～ 6月21日 8月28日 8月30日	埼玉県立草加かがやき特別支援学校開校 草加寺子屋（土曜学習）を市内公共施設4会場に加え、市内小学校全校で開催 藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵が国の登録有形文化財に登録 「いじめ撲滅サミット」を開催 谷塚小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催

年度	月日	主 な こ と が ら
25	1 1 月 1 日 1 2 月 1 月 2 4 日 2 月 3 月 3 月 1 8 日 3 月 3 1 日	草加市立中央図書館に「ドナルド・キーンコーナー」を開設 栄小学校新校舎が完成 瀬崎の富士行及び富士塚を市指定文化財に指定 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育モデル指針)」「草加市幼保小接続期モデルプログラム」「草加市小中連携モデルプログラム」を策定 「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」策定 草加松原が「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、国指定名勝に指定 新里文化センターの完成に伴い、谷塚西公民館が閉館
26	4 月 1 日 4 月 8 日 5 月 2 4 日 7 月～ 7 月 8 月 3 0 日 2 月 3 月 7 日	新里文化センターが開館 栄小学校新校舎で授業を開始 草加市文化会館で名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定記念式典を開催 市内小中学校の普通教室及び音楽室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 青柳小学校・小山小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育指針)」「草加市幼保小接続期プログラム」「草加市小中連携プログラム」を策定 草加松原遊歩道内にドナルド・キーン氏揮毫による国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の標識(記念碑)を建立。同日、除幕式典を開催
27	4 月 1 日 7 月 8 月 3 0 日 1 1 月 2 2 日 2 月 2 月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育委員会制度へ移行 青柳小学校・小山小学校・八幡小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 川柳小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、「いのちの絆をつなぐ教育」として豊かな心推進事業講演会を開催 第二次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定 第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画、草加っ子にこここわくわくプラン(草加市乳幼児期保育・教育課程)、草加市小中学校教育課程指導資料(算数・数学)を策定
28	4 月 1 日 6 月 2 4 日 7 月 8 月 2 3 日 8 月 24・25 日 1 0 月 1 6 日 1 1 月 2 4 日 2 月 2 日 2 月 3 月	総務企画課施設係に改編 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を挙行 新田小学校・花栗南小学校・八幡小学校が試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 草加中学校で夏休み草加っ子相撲を開催 栄中学校全国中学校体育大会の体操競技男子団体が優勝 中央図書館で小学生によるビブリオバトルを開催 新田中学校区小中一貫教育研究発表会開催 川柳中学校区小中一貫教育研究発表会開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム7教科等を策定 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画を策定

年度	月日	主 な こ と が ら
29	4月 4月 1日 7月 8月22日 12月 1月26日 2月 3月	全中学校区で小中一貫教育を開始 草加市教育委員会と獨協大学との教育支援連携協定締結 第三次草加市生涯学習基本計画「生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか」を策定 西町小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム全教科等を策定 草加中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 『れきみんだより』創刊 草加市子ども読書活動推進計画を策定 草加市学校施設整備基本方針を策定 草加市文化財保護指針を策定
30	4月 7月～9月 10月31日 11月 1日 11月10日 1月17日 1月24日 1月30日 2月 3月	全中学校区で幼保小中を一貫した教育を開始 歴史民俗資料館で市制施行60周年記念企画展「草加市誕生」を開催（会期：7月10日～9月2日） 青柳中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 市制施行60周年を記念して図録『草加市誕生』を刊行 市制施行60周年記念事業「ビブリオバトル・草加の陣」を開催 瀬崎中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 松江中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 栄中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 2019年度版幼保小中一貫教育標準カリキュラムを策定 草加市幼保小中一貫教育プログラムを策定 歴史民俗資料館で名勝指定50周年記念企画展『『おくのほそ道』から草加松原へ』を開催（会期：3月16日～4月10日）
令和 元	6月 1日 7月 8月 8月22日 9月 9月14日 9月28日 11月13日 11月22日 11月27日 1月23日 1月28日 2月 3月 3月 2日 3月 4日	一周忌追悼講演会「ドナルド・キーン先生とほそ道と草加」を開催 市内小中学校の特別教室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画を策定 高砂小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 市内小中学校の給食室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 「ビブリオバトル・草加の陣」を開催 PTA連合会創立60周年式典開催 歴史民俗資料館で来館者数30万人を達成 新栄中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 谷塚中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 両新田中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 花栗中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 中央図書館空調設備等改修工事着工 （工期：令和元年12月19日～令和2年8月25日） 第三次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定 第三次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定 草加市生涯学習推進指針を策定 政府による学校休業の要請を受け、小中学校の臨時休業開始 社会教育施設一般利用の休止開始

年度	月日	主 な こ と が ら
令和 2	4月 1日	中央図書館開館20周年
		総務企画課を総務企画課、学校施設課に改編
	4月 8日	新型コロナウイルス対策のため、5月31日まで小中学校臨時休校
	8月 5日	中央図書館リニューアルオープン
	8月25日	中央図書館空調設備等改修工事完了
	11月14日	中央図書館開館20周年記念事業を開催
	1月11日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新成人のつどいをオンラインにより開催
	1月28日	令和2年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施
	3月	中央図書館開館20周年記念誌を発行 市内小中学校7校の体育館へのエアコン設置が完了し、稼働開始 草加市学校施設等長寿命化計画を策定

草加市の指定文化財

(令和3年6月1日現在)

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	富士浅間神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60mの一間社流造(いつけんしやながれづくり)。随所に豊富な彫刻を配した天保年間の建物で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24 富士浅間神社	昭和 51 年 11 月 15 日
市	六角宝幢形経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその台。筒身は 6 枚の長方形の銅板(縦約 9.5 cm、幅約 2.5 cm)に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重なものである。	柿木町地内	昭和 51 年 11 月 15 日
市	東漸院山門 (建造物)	1 棟	本堂の表門で型式は四脚門。規模は表柱間 3.16m、妻 3.58m。この山門は江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286 東漸院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	宝積寺木造千体地藏 (彫刻)	1,000 体	勝軍地藏、両脇侍地藏、小地藏。江戸後期の造立と思われるが、今日まで完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 169-1 宝積寺	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院十三仏石像 (歴史資料)	13 体	十三仏像が個々の形体で、それぞれ独立の立像として彫刻、配列されているのは他に類がなく、貴重である。享保 6 年(1721)造立の銘あり。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院六地藏石仏 (歴史資料)	6 体	六道別各尊名を刻した六地藏石仏。元禄 4 年(1691)の造立。六地藏としての体系を具えたもので、創立当初からの姿態をよく保存している。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	関根家所蔵歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世及び明治初年の篠葉村関係の文書。検地帳、村絵図、持高帳、その他。保存がよく、草加周辺の雰囲気をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性のある資料群である。	弁天 5 丁目地内	昭和 52 年 8 月 8 日
市	野島家所蔵歴史資料 (歴史資料)	77 点	草加宿村の近世史を解明する上で大変重要であり、市史研究にとって基礎的な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 54 年 2 月 20 日
市	旭神社算額 (歴史資料)	1 面	この算額は、県下でも古い方であり市唯一の算額である。奉納者の系統も明らかであり(宮城流)、珍しい貴重な文化遺産であるが、近年文字の退色が進行し、読み取ることが困難となっている。現在は、算額のレプリカが歴史民俗資料館にて展示されている。	金明町 1333 旭神社	昭和 54 年 2 月 20 日
市	東福寺鐘楼 (建造物)	1 棟	江戸末期の、よくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。十三仏は市内唯一のものである。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	長堀家所蔵歴史資料 (歴史資料)	48 点	江戸時代の旧新里村における旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮彫りにされる、重要な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日

<お知らせとお願い>

- ・掲載している文化財には、非公開のものもあります。必ず所有者の許可を得てから見学するようにしてください。
- ・文化財を火災から守るため、文化財周辺での喫煙はご遠慮ください。
- ・文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないでください。
- ・一部の指定文化財は事情により掲載していません。

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華經」の題目が彫られており、右に北朝年号の至徳3年(1386)の年号が彫ってある。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	寛永十三年山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑型で寛永 13 年(1636)丙子(ひのえね)の紀年銘を持つ。草加市域はもとより隣接市区で、最も古い貴重な中世資料である。	稲荷 4-3-23 慈尊院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	寛文二年地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫り型であり、寛文 2 年(1662)と、市域では最も古い、貴重な近世資料といえる。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	延宝六年地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の光背型立像である。延宝 6 年(1678)と、市域で 2 番目に古く像容が優れている点が注目に値する。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は市域で最も古く、板碑型の碑面に六体を納めた例は他にはない。	柿木町 1286 東漸院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)と、市域では最も早く造立され、その後の地藏像が丸彫りか光背型であるのに対して、他に例のない板碑型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭和 56 年 1 月 31 日
市	八幡神社獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	高さ 83cm の大型の獅子頭で、江戸末期の平面的な技法によって構成されているため、その時期に作成されたものと思われる。	高砂 2-20 八幡神社	昭和 56 年 1 月 31 日
市	東福寺本堂内外陣境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	この欄間は職人芸で、経費・期間に制約がある中で、また、文献を参考に描くということの不可能な時代の所産にもかかわらず、技法がこまやかであり、構図・刀痕ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	東福寺山門 (建造物)	1 棟	この山門は、江戸時代木割(きわり)書によって造営され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕がみられる。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	吉岡家所蔵歴史資料 (歴史資料)	1,540 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や明治中後期の東京との交換売買のありさま等、郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 57 年 2 月 22 日
市	新井家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	この資料は草加市史上の重要人物の一人である新井孫助(あらいまごすけ)に關係する貴重な資料だけでなく、近世と近代の草加の豪農、豪商層の成り立ちと在り方、当時の村落状況を伝える貴重な資料群である。	花栗 3 丁目地内	昭和 58 年 2 月 22 日
市	藤波家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて①草加せんべい、②豪農の家訓、③明治 10 年～20 年代の「草加人」の憲法学習、④日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、その文献類はいずれも草加市の歴史を知る上で貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 58 年 2 月 22 日
市	草加神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73m の一間社流造で、天保年間の造営。豊富な彫刻も立川流の絵様を採用している建物である。	氷川町 2118-4 草加神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	日枝神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝の出 1.15m からなる一間社流造で、彫刻充填式の建物である。	吉町 3-9-24 日枝神社	昭和 58 年 2 月 22 日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	手代町面芝居資料 (有形民俗文化財)	シャグマ 8 点、 面 14 点、 衣装 22 点	神楽舞だけでなく、面芝居（めんしばい）を演ずるのがこの地方の神楽の特色であったが、面芝居が上演されなくなって久しい。完全な形で保存されており、民俗芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日
市	弘安六年弥陀一尊 板碑 (歴史資料)	1 基	弘安 6 年(1283)は市域で最も古い板碑であり、中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日
市	享禄五年弥陀一尊 図像庚申待板碑 (歴史資料)	1 基	庚申待板碑(こうしんまちいたび)は市域でこの 1 点が確認されただけであり、造立も享禄 5 年(1532)と古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	柿木町地内	昭和 60 年 3 月 28 日
市	文明十七年弥陀一尊 図像月待板碑 (歴史資料)	1 基	月待板碑(つきまちいたび)は、一般に例が少なく、市内においては現在この 1 点が発見されただけで、造立年代も文明 17 年(1485)11 月 23 日と、市内の月待関係石刻資料としては最も古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町地内	昭和 61 年 2 月 20 日
県	甚左衛門堰 (建造物)	1 基	明治 27 年(1894)から昭和 58 年(1983)までの約 90 年間使用された、二連アーチ型の煉瓦造水門。煉瓦は古いタイプの横黒煉瓦(鼻黒・両面焼煉瓦ともいう。)を使用しており、建設年代から見てもこの種の煉瓦を使った最後期を代表する遺構である。また、煉瓦でできた美しい水門は、周囲の景観にとけ込み、デザイン的にも優れたものであり、建設当初の姿を保ち、保存状態が極めて良く、農業土木技術史・窯業技術史上でも貴重な建造物である。	神明 2-145-1 ほか 札幌河岸公園	市指定 平成 10 年 10 月 28 日 県指定 平成 11 年 3 月 19 日
市	正保二年草賀町銘 板碑型線刻虚空蔵 菩薩立像供養塔 (歴史資料)	1 基	この供養石塔は「草賀町」の文字がある石物資料としては、現在知られている中で最も古いものとして注目される。また、草加市域では数少ない「虚空蔵菩薩立像」の線刻尊像である。	草加 2-13 北草加観音堂	平成 17 年 9 月 29 日
市	綾瀬川 (旧新田村) 出土丸木舟 (歴史資料)	1 基	昭和 4 年(1929)、当時の新田村(金明町)で、綾瀬川のしゅんせつ工事に発見された。約 5300 年前・縄文時代前期のものと推定される。帯状の削り残しによる横梁を有し、今後、丸木舟の構造を解明する上で重要な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	平成 18 年 7 月 26 日
国	草加市立歴史民俗 資料館(旧草加小学 校西校舎) (国登録有形文化 財<建造物>)	1 棟	大正 15 年(1926)に建設された、埼玉県では初の鉄筋コンクリート(RC)造校舎である。昭和 54 年度(1979)まで草加小学校の校舎として利用され、その後昭和 58 年(1983)に歴史民俗資料館として開館した。造形の模範になっている建造物であることなどが評価され、平成 20 年(2008)10 月 23 日付けで、市では初、県では 123 件目の「登録有形文化財」となった。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	国登録 平成 20 年 10 月 23 日
市	明治天皇草加行在 所記念碑 (歴史資料)	1 基	「中大川」と呼ばれた大川弥惣右衛門家は、明治 9 年(1876)の奥羽巡幸及び明治 14 年(1881)の東北・北海道巡幸の際に明治天皇の行在所として指定された。昭和 8 年(1933)には史蹟名勝天然紀念物保存法に基づく史蹟に指定され、翌 9 年(1934)、これを記念し草加町が明治天皇草加行在所記念碑を建立した。行在所は平成 4 年(1992)に解体され、現在では記念碑が行在所の所在地及び中大川家の由緒を伝える貴重な資料となっている。	住吉 2 丁目地内	平成 23 年 12 月 26 日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
国	藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵 (国登録有形文化財＜建造物＞)	各 1 棟	藤城家住宅は、日光街道の宿場・旧草加宿のほぼ中央に位置する。街道に面して建つ「店舗」は高さがあり、屋根の軒先は出桁造、開口部は立格子で装飾された風格ある趣の昭和初期の商家である。 「店舗」の後方には、母屋に組み込まれた重厚な土蔵造りの「内蔵」と、明治初期の建造と伝える「外蔵」が建ち、奥行きが深い、草加宿の典型的な町屋景観を残している。 国土の歴史的景観に寄与していることが評価され、平成 25 年(2013)6 月 21 日付けで、「登録有形文化財」となった。	高砂 2-48-1	国登録 平成 25 年 6 月 21 日
市	瀬崎の富士行及び富士塚 (民俗文化財)	—	富士山信仰を基盤とするもので、一般的には「富士講」と呼ばれているが、19 世紀中頃からの伝承を伝える瀬崎では「富士に行く行為」が最重要要素であるとの認識のもと、あえて「富士行」と表記することになったものと伝えられている。 また、富士山信仰において、誰でも富士参拝ができるよう築かれた人工の山や塚を富士塚と呼ぶ。瀬崎の富士塚は大正 5 年(1916)8 月に築造されており、現在も信仰の対象となっている。	瀬崎 3-3-24	平成 26 年 1 月 24 日
国	おくのほそ道の風景地 草加松原 (名勝)	—	草加松原は、綾瀬川沿いにある約 1.5 km の松並木であり、旧草加宿の北側に位置する。江戸時代から日光街道の名所として知られてきた。 寛永 7 年(1630)の草加宿開宿時、もしくは天和 3 年(1683)の綾瀬川改修時に松が植えられたとの伝承が残されている。 松尾芭蕉の『おくのほそ道』に関連する名勝地が、後世の人々の風致景観に影響を与え、今なお往時の雰囲気伝える一連の風致景観として評価され、一群として名勝に指定されたものである。	栄町 1 丁目ほか	国指定 平成 26 年 3 月 18 日

教育委員会関係附属機関委員

(令和3年8月1日現在 順不同、敬称略)

草加市奨学資金貸付審査会委員(4人)

及川 祐一 遠藤 淳一 若林 秀次 丹下 和子

草加市立小中学校通学区域審議会委員(14人)

福田 誠一 尾関 亜希子 花本 邦次 田中 恭子 関根 利幸
市川 雅保 茂木 綾子 白石 隆夫 鈴木 英治 木津 秀平
船戸 姿子 小野澤 美明子 生明 茂 笠井 誠司

草加市立小中学校の学校医等公務災害補償認定委員会(3人)

石井 保雄 内藤 毅嗣 村田 明広

草加市いじめ問題対策連絡協議会(16人)

花籠 啓 日向 昇一 佐藤 厚志 大金 和代 中村 哲也
小林 和広 高橋 昌夫 渡邊 幸司 杉本 久雄 森 寿義
林 義憲 真壁 克典 富岡 由記子 遠藤 真一 河野 健
坂本 拓也

草加市いじめ問題調査対策委員会(5人)

野村 武司 豊泉 清浩 荒木 真名 岡村 理恵 天笠 竜崇

草加市障害児就学支援委員会委員(15人)

成田 奈緒子 浜田 正子 富田 直 磯部 雅美 内藤 純子
中河内 千尋 長谷川 毅 壽福 亜耶 石崎 明子 山根 明
柴崎 ひとみ 高橋 整 東 あやの 柳田 優子 土田 直人

草加市社会教育委員(15人)

谷脇 純子 鈴木 輝子 川田 清隆 藤崎 貴文 河内 紀恵
高井 正 高橋 とし 長沢 葉子 榎本 明子 山本 多美子
福田 求 青山 鉄兵 内田 有一 山崎 修 細川 美佐子

草加市文化財保護審議会(6人)

岡本 一雄 譲原 純子 高梨 真行 菊地 潤 實松 幸男
山本 孝文

草加市公民館運営審議会委員(15人)

田丸 住子 柳田 悦子 植木 正 瀬尾 寛 末田 末美
小笠原 由里映 小林 榮子 三橋 清 田島 一 木村 功
藤掛 泰好 手塚 雪香 松本 由美 梶原 祐子 桑原 千明

草加市立図書館協議会委員(12人)

岡村 勝成 遠藤 淳一 中島 清治 田原 節子 成川 登喜男
青柳 伊佐雄 矢口 あかね 橋本 奈津子 渡邊 恒一 赤坂 智恵
庄司 成寿 井上 靖代

学 校 教 育 関 係 等 一 覧

○小学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加小学校	住吉一丁目1番6号	927-3568・3569	小 松 薫 樹	渡 辺 真 一
2	高砂小学校	中央一丁目2番5号	924-3425・3426	石 崎 明 子	鈴 木 克 裕
3	新田小学校	旭町六丁目1番1号	941-3087・3172	小 崎 賢 司	山 本 武
4	谷塚小学校	谷塚仲町4番地	925-2422・7105	森 田 恵 子	磯 川 剛
5	栄小学校	松原一丁目3番2号	941-2164・2124	鈴 木 輝 子	関 敬 之
6	川柳小学校	青柳七丁目2番10号	931-5025・5024	谷 口 慎 一	森 田 光 信
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目3番1号	924-9656・9657	奥 村 勇	長 曾 亜希子
8	西町小学校	西町2番地	924-7245・7246	須 賀 達 也	佐々木 和 寿
9	新里小学校	新里町7番地	924-7248・7249	柳 田 加 代	篠 崎 光 浩
10	花栗南小学校	花栗四丁目3番1号	941-2854・2835	寺 本 博 美	鈴 木 孝 夫
11	八幡小学校	八幡町6番地	936-6293・6294	和 田 卓	小 沼 健 寛
12	新栄小学校	新栄四丁目9番地	941-2189・2188	平 野 晴 彦	藍 原 正 明
13	清門小学校	清門三丁目3番地1	941-6755・6756	鈴 木 英 治	撰 郁 子 小 林 和 美
14	稲荷小学校	稲荷五丁目1番1号	936-5855・5856	中 田 順 一	須 賀 由 美
15	氷川小学校	氷川町4番地	928-6771・6772	岡 村 勝 成	赤 坂 佳 美
16	八幡北小学校	八幡町1番地	936-0773・0774	松 本 由 美	蘇 武 敏 行
17	長栄小学校	長栄一丁目7番地	942-9874・9875	嶋 田 弘 之	長 谷 川 淳
18	青柳小学校	青柳三丁目1番1号	931-0899・0894	野 村 真 一	土 屋 貴 一
19	小山小学校	小山二丁目8番1号	941-1701・1702	岩 渕 健 志	佐々木 紀 剛
20	両新田小学校	両新田西町5番地	927-8411・8412	上 野 雅 祥	高 橋 康 子
21	松原小学校	松原四丁目2番1号	941-3214・3996	中 村 哲 也	村 田 隆 一

○中学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加中学校	氷川町2番地4	925-5201・5202	中 村 常 雄	森 寿 義 佐 藤 勝
2	栄中学校	松原三丁目7番1号	941-2587・2589	今 泉 正 之	朝比奈 智
3	谷塚中学校	谷塚上町6番地	925-2421・3456	本 間 錦 一	市 村 耕 治
4	川柳中学校	青柳七丁目3番1号	931-5827・5828	車 浩	江 口 和 彦
5	新栄中学校	新栄一丁目3番地	941-5034・5035	大 野 正 浩	土 谷 守 人
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目3番1号	927-6297・6298	飯 島 隆	神 田 研二郎
7	花栗中学校	花栗四丁目1番2号	941-5833・5835	山 根 明	小 野 陽 子
8	両新田中学校	両新田西町3番地1	924-5051・5052	及 川 祐 一	綿 貫 稔
9	新田中学校	長栄一丁目7番地	942-9872・9873	小 林 和 広	橋 本 哲
10	青柳中学校	青柳八丁目5番10号	936-4001・4002	笠 井 誠 司	北 井 宏 征
11	松江中学校	松江三丁目1番3号	936-9903・9904	遠 藤 淳 一	高 安 健 次

○高等学校・大学等

No.	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校 長・学 長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	橋 本 淳
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	川 田 清 隆
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1号	936-3570	秋 葉 淳 一
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	市 川 啓 二
5	埼玉県立草加かがやき特別支援学校	松原四丁目6番1号	946-2131	羽 山 史 明
6	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	山 路 朝 彦

○私立幼稚園・認定こども園

No.	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	小 倉 恵 照
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	小 野 真 理
3	認定こども園 あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目22番6号	931-4949	鈴 木 達 哉
5	かおり Karuna 認定こども園	氷川町1080番地1	928-4489	帛 溪 文 有
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	吉 田 栄 子
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	垢 田 やよい
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	田 幸 徹
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	木 元 孝 子
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	保 坂 礼 子
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門三丁目12番1号	942-5880	高 橋 富士江
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 野 良 行

児 童 ・ 生 徒 数 等 の 推 移

(各年度5月1日現在 単位：人・校)

年度		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
児童・生徒数	小学校	12,767	13,099	13,412	13,677	13,936	13,925	14,118	14,148	14,137	13,940
	中学校	5,367	5,360	5,338	5,567	5,651	5,894	5,881	6,081	6,140	6,410
学校数	小学校	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
児童・生徒数	小学校	13,617	13,410	13,160	13,015	12,829	12,623	12,421	12,254	12,123	11,895
	中学校	6,549	6,555	6,547	6,425	6,380	6,209	6,144	6,048	6,068	6,014
学校数	小学校	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

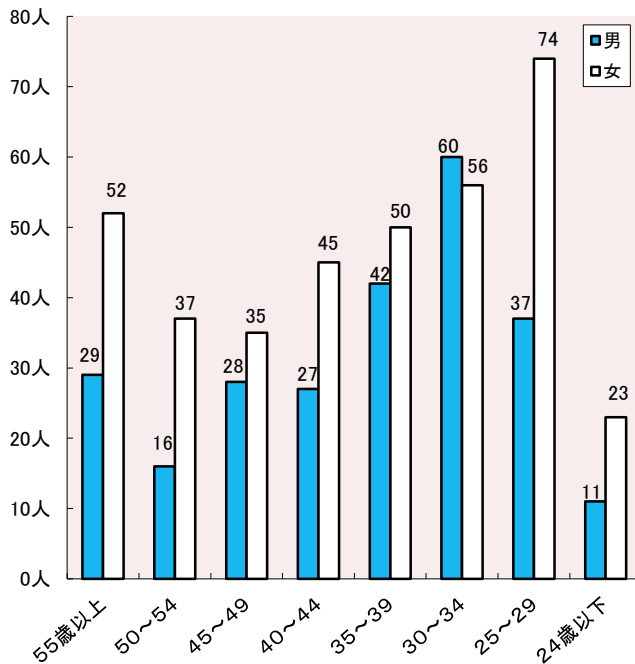
教職員の年齢構成・男女比

(令和3年5月1日現在、県費負担教職員)

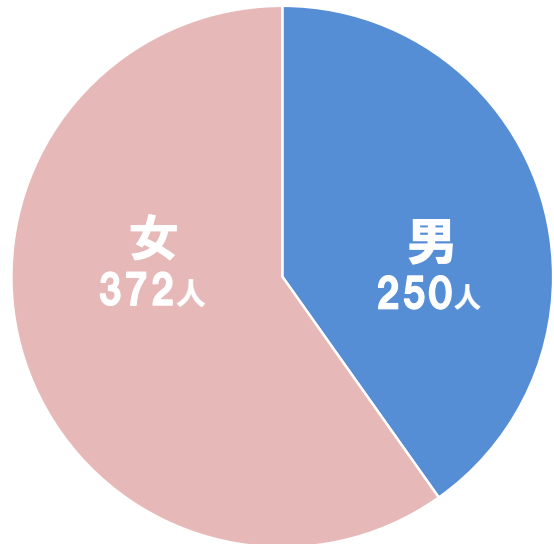
(年齢は令和4年3月31日現在)

小学校 (622人)

年齢構成

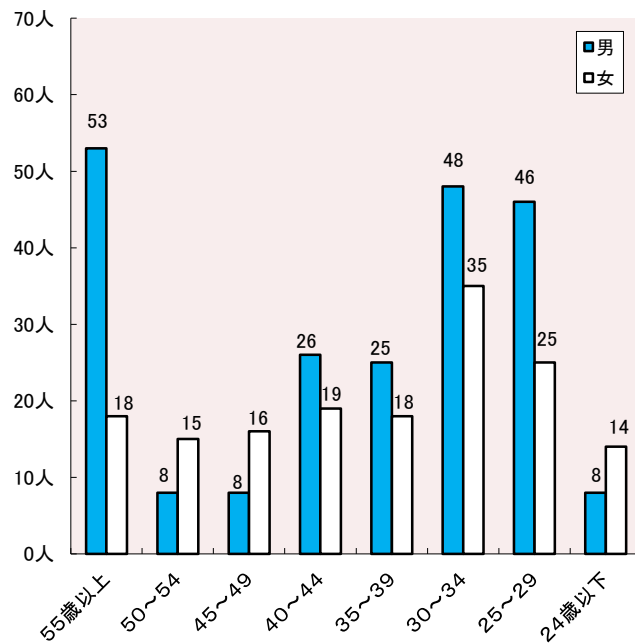


男女比

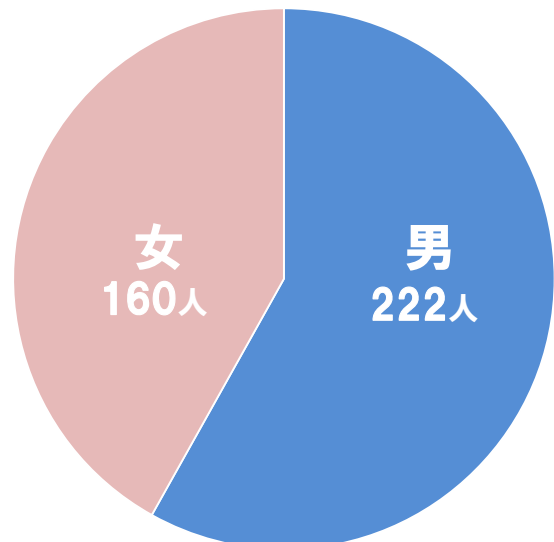


中学校 (382人)

年齢構成



男女比



要概校学

令和3年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覧表

(令和3年5月1日現在)

	學校數	兒童・生徒數	學 級 數			學 級 別 教 員 數		
			通常學級	特別支援學級	計	男	女	計
小 學 校	21	11,895	371	52	423	250	372	622
中 學 校	11	6,014	169	25	194	222	160	382
計	32	17,909	540	77	617	472	532	1,004

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級			計		県費教職員数					計
				児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	校長	教頭	主幹 教諭	専任 教諭	准 教諭	事務 職員	栄養 教諭	学校栄養 職員	
1	草加	昭5.5.15	5月15日	133	4	136	4	101	3	126	4	119	3	115	3	8	2	738	23	1	28	1	1	1	33	
2	高砂	昭29.4.1	9月18日	138	4	123	4	151	5	127	4	154	4	141	4	10	2	844	27	1	34	1	1	1	40	
3	新田	明6.4.26	4月26日	65	2	79	3	68	2	64	2	51	2	67	2	23	4	417	17	1	21	1	1	1	26	
4	谷田	昭6.1.25	1月25日	116	4	122	4	95	4	112	3	121	4	107	3	13	3	686	24	1	29	1	1	1	35	
5	宋沼	昭38.4.1	5月2日	108	4	108	4	101	3	94	3	110	3	106	3	17	3	644	23	1	28	1	1	1	31	
6	川柳	昭6.1.15	4月12日	79	3	86	3	89	3	87	3	97	3	106	3	18	4	582	22	1	25	1	1	1	31	
7	瀬崎	昭42.4.1	5月4日	88	3	88	3	93	3	95	3	79	2	87	3	12	2	542	19	1	21	1	1	1	27	
8	西町	昭242.4.1	1月23日	89	3	105	3	120	4	115	3	99	3	107	3	8	2	643	21	1	24	1	1	1	29	
9	新里	昭245.4.1	2月10日	103	3	109	4	119	4	107	3	120	3	122	4	16	3	696	24	1	27	1	1	1	33	
10	花栗南	昭47.4.1	5月10日	105	3	83	3	104	3	94	3	79	2	70	2	5	1	540	17	1	19	1	1	1	25	
11	八幡	昭48.4.1	9月29日	122	4	121	4	113	4	142	4	138	4	122	4	20	4	778	28	1	36	1	2	1	43	
12	新栄	昭49.4.1	11月22日	52	2	50	2	65	2	74	2	83	3	79	2	9	2	412	15	1	18	1	1	1	22	
13	清門	昭51.4.1	9月14日	111	4	147	5	152	5	140	4	145	4	181	5	16	3	892	30	1	35	2	1	2	43	
14	稻荷	昭52.4.1	5月4日	72	3	71	3	64	2	58	2	78	2	82	3	10	2	435	17	1	20	1	1	1	25	
15	水川	昭52.4.1	9月16日	94	3	115	4	86	3	82	3	87	3	105	3	10	2	579	21	1	27	1	1	1	32	
16	八幡北	昭54.4.1	5月4日	70	2	63	2	82	3	53	2	74	2	83	3	10	2	435	16	1	20	1	1	1	25	
17	長栄	昭55.4.1	7月1日	82	3	75	3	82	3	84	3	82	3	67	2	14	2	436	19	1	22	1	1	1	28	
18	青柳	昭57.4.1	5月4日	49	2	66	2	69	2	49	2	63	2	62	2	4	2	362	14	1	16	1	1	1	21	
19	小山	昭57.4.1	10月14日	69	2	64	2	67	2	54	2	60	2	75	2	10	2	399	14	1	17	1	1	1	22	
20	高田	昭57.4.1	5月4日	67	2	72	3	79	3	65	2	73	2	74	2	9	2	419	16	1	18	1	1	1	23	
21	松原	平21.4.1	5月23日	59	2	76	3	55	2	53	2	51	2	59	2	13	3	386	16	1	21	1	1	1	25	
計				1,871	62	1,969	68	1,955	64	1,875	59	1,963	58	2,017	60	255	52	11,895	423	21	14,506	22	9	23	5	622

(按种母)

1	草	加	昭22.4.1	255	7	289	8	237	6									13	2	794	23	1	2		38	1		2	1	45
2	栄	昭22.4.1	188	5	178	5	189	5	189	5								12	2	527	17	1	1	1	28	1		1	1	33
3	谷	塚	昭22.4.1	221	6	201	6	220	6									11	3	653	21	1	1	1	35	1	1	2		41
4	川	柳	昭22.4.1	128	4	173	4	143	4									6	2	450	15	1	1	1	24	1	1	1	30	
5	新	栄	昭49.4.1	201	6	197	5	242	7									11	3	651	21	1	1	1	35	1	2	2	1	42
6	瀬	崎	昭51.4.1	224	6	226	6	243	7									4	2	697	21	1	1	1	35	1		2		40
7	花	栗	昭52.4.1	111	3	121	4	121	4									3	2	356	13	1	1	1	22	2	1	1	29	
8	西	新	田	昭54.4.1	155	5	162	5	147	4								10	2	474	16	1	1	1	26	1	1	1	31	
9	新	田	昭55.4.1	165	5	164	5	152	4									14	3	495	17	1	1	1	29	1	1	1	33	
10	青	柳	昭56.4.1	162	5	174	5	148	4									12	2	496	16	1	1	1	25	1		1	30	
11	松	江	昭60.4.1	148	4	127	4	138	4									8	2	421	14	1	1	1	24	1	1	1	28	
計				1938	56	2012	58	1980	55									104	25	6014	194	11	12	6	321	12	3	15	2	382

小・中学校施設状況

(令和3年4月1日現在)

No	学 校 名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積 (㎡)
1	草加小学校	14,200	5393	34	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,697	47	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	5,992	32	901	385	4,327
4	谷塚小学校	17,311	8,603	39	985	390	6,260
5	栄小学校	19,081	8,600	40	938	385	9,304
6	川柳小学校	22,971	5,888	32	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	16,602	5,553	34	916	375	4,914
8	西町小学校	18,909	6,703	34	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,432	39	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,800	32	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,059	43	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,989	28	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	7,134	43	902	375	7,473
14	稲荷小学校	16,324	4,867	28	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,780	37	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,055	30	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,429	27	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,888	4,708	27	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,991	25	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,996	26	936	350	9,132
21	松原小学校	18,338	8,009	30	851	345	7,635
計		358,531	137,678	707	19,893	7,775	159,613
1	草加中学校	21,506	5,755	37	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,804	32	899	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,505	36	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,156	29	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,005	37	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,055	35	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	28	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,564	5,740	29	936	325	12,067
9	新田中学校	17,581	5,972	30	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	30	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,992	26	800	325	9,383
計		210,865	68,309	349	11,103	3,775	103,964

令和３年度 草加の教育

令和３年９月 発行

編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目１番１号

TEL 048-922-0151(代)

FAX 048-928-1178



草加せんべいマスコット
「パリポリくん」